

2019 年度

# 履 修 要 項

平 安 女 学 院 大 学

各 位

## 2019年度 平安女学院大学 履修要項 正誤表

頁		誤		正	
P15	履修条件 (4)「教育実習a」	子ども教育科目	条件 2単位以上修得済み	子ども教育科目	条件 2単位以上修得済み もしくは履修中
P71	子ども教育学部子ども教育学科 カリキュラムワラー 《乳幼児保育コース》	DP2 乳幼児保育科目	3年次 春学期 子ども家庭福祉 2 幼児理解 2 保育の表現技術Ⅰ 1	DP2 乳幼児保育科目	3年次 春学期 子ども家庭支援論 2 幼児理解 2 保育の表現技術Ⅰ 1

※子ども教育学科カリキュラム表については、別途配布する「子ども教育学部 子ども教育学科 カリキュラム表(訂正版)」を確認してください。

# 子ども教育学部 子ども教育学科 カリキュラム表（訂正版）

## 教養科目

授 業 科 目		単位数					週時間	形態	配当年次	免許資格				備 考
		必修	選択	(コース必修)						保	幼	小	中	
				乳幼児	子ども	英専								
基礎科目	キリスト教学	2					2	講義	1	○				11単位以上
	キリスト教文化	1					2	演習	1	○				
	日本語表現法	2					2	講義	1	○				
	英語Ⅰ	1					2	演習	1	○	○	○	○	
	英語Ⅱ	1					2	演習	1	○	○	○	○	
	情報技術Ⅰ	2					2	演習	1	○	○	○	○	
	情報技術Ⅱ		2				2	演習	1					
	音楽理論		2				2	講義	1					
	体育理論		1				1	講義	1	○	○	○	○	
	体育実技		1				2	実技	1	○	○	○	○	
日本国憲法		2				2	講義	1	△	○	○	○		
ジェネリックスキルⅠ	1					2	演習	1						
ジェネリックスキルⅡ	1					2	演習	1						
教養展開科目 A	生命と環境		2				2	講義	1					4単位以上
	健康の科学		2				2	講義	1					
	現代社会論		2				2	講義	1					
	市民生活と法		2				2	講義	1					
	女性学		2				2	講義	1					
	国際理解		2				2	講義	1					
	子どもの読書生活		2				2	講義	1					
	人権と子ども		2				2	講義	1					
乳幼児教育・保育の基礎		2				2	講義	1						
現代の教養		2				2	講義	1						
教養展開科目 B	伝統文化論（茶道）Ⅰ	1					2	演習	1					2単位以上
	伝統文化論（茶道）Ⅱ	1					2	演習	1					
	伝統文化論（茶道）Ⅲ		1				2	演習	2					
	伝統文化論（茶道）Ⅳ		1				2	演習	2					
	伝統文化論（茶道）Ⅴ		1				2	演習	3					
	伝統文化論（茶道）Ⅵ		1				2	演習	3					
	伝統文化論（茶道）Ⅶ		1				2	演習	4					
	伝統文化論（茶道）Ⅷ		1				2	演習	4					

子ども教育学部 子ども教育学科 専門科目

授 業 科 目	単位数					週時間	形態	配当 年次	免許資格				備 考
	必修	選択	(コース必修)						保	幼	小	中	
			乳幼児	子ども	英専								
学部基幹科目	保育原理		2			2	講義	1	○				}いずれか 選択必修
	教育原理	2				2	講義	1	○	○	○	○	
	教職論(幼・保)		2			2	講義	1	○	○			
	教職論(小・中)		2			2	講義	1			○	○	
	発達心理学	2				2	講義	1	○	○	○	○	
	社会福祉原論Ⅰ					2	講義	1	○				
	社会福祉原論Ⅱ		2			2	講義	3	▲				
	体験実習aⅠ		1			2	実習	1		□	■	▼	
	体験実習aⅡ		1			2	実習	2		□	■	▼	
	体験実習b		1			2	実習	2					
	教育ボランティアワーク		1			集中	実習	4		□	■	▼	
	子ども学研究入門Ⅰ	1				2	演習	2					
	子ども学研究入門Ⅱ	1				2	演習	2					
	子ども学専門演習Ⅰ	1				2	演習	3					
子ども学専門演習Ⅱ	1				2	演習	3						
子ども学専門演習Ⅲ	1				2	演習	4						
子ども学専門演習Ⅳ	1				2	演習	4						
実習科目	教育実習指導a		1			集中	演習	3		☆1	★1		18単位以上
	教育実習a		4			集中	実習	3		☆1	★1		
	教育実習指導b		1			集中	演習	3		☆2	★2		
	教育実習b		4			集中	実習	3		☆2	★2		
	教育実習指導c		1			集中	演習	3				○	
	教育実習c		4			集中	実習	4				○	
	保育実習指導Ⅰa		1			2	演習	2	○				
	保育実習Ⅰa		2			集中	実習	2	○				
	保育実習指導Ⅰb		1			2	演習	2	○				
	保育実習Ⅰb		2			集中	実習	2	○				
保育実習指導Ⅱ		1			2	演習	3	○					
保育実習Ⅱ		2			集中	実習	3	○					
教職実践演習(幼・小・中)	2				2	演習	4	○	○	○	○		
専門発展科目	子どもの心と教育		2			2	講義	3	▲				4単位以上
	子どものメディア論		2			2	講義	3	▲				
	子どもの生活空間		2			2	講義	3	▲				
	子どもの食育論		2			2	講義	3	▲				
	子どもの遊び		2			2	講義	3	▲				
	地域福祉論		2			2	講義	3	▲				
	障害者福祉論		2			2	講義	3	▲				
	カウンセリング理論		2			2	講義	3	▲				
	家族心理学		2			2	講義	3	▲				
	異文化理解		2		◎	◎	2	講義	3			○	
多文化共生論		2			2	講義	3				▽		

授 業 科 目	単位数					週時間	形態	配当年次	免許資格				備 考
	必修	選択	(コース必修)						保	幼	小	中	
			乳幼児	子ども	英専								
子ども教育科目	比較教育制度論	2				2	講義	3		○	○	○	42単位以上
	特別支援教育論	1				1	講義	2		○	○	○	
	教育課程論	2				2	講義	2		○	○	○	
	幼児教育方法論		2			2	講義	2		◇			
	教育方法論	2				2	講義	2		◇	○	○	
	教育相談	2				2	講義	2		○	○	○	
	総合教育	1				2	演習	1					
	ピアノ基礎Ⅰ	1				2	演習	1					
	ピアノ基礎Ⅱ	1				2	演習	1					
	器楽Ⅰ	1				2	演習	2		▲			
	器楽Ⅱ	1				2	演習	2		▲			
	器楽Ⅲ	1				2	演習	3		▲			
	器楽Ⅳ	1				2	演習	3		▲			
	音楽基礎(ソルフェージュ)	1				2	演習	1					
	幼児と音楽		1			2	演習	2		▲			
	乳幼児保育科目	健康		2※	○		2	講義	1		○		
人間関係			2※	○		2	講義	1		○			
環境			2※	○		2	講義	1		○			
言葉			2※	○		2	講義	1		○			
表現			2※	○		2	講義	1		○			
保育内容総論		2		○		2	演習	1	○	○			
保育内容(健康)			2	○		2	演習	2	○	○			
保育内容(人間関係)			2	○		2	演習	2	○	○			
保育内容(環境)			2	○		2	演習	2	○	○			
保育内容(言葉)			2	○		2	演習	2	○	○			
保育内容(造形表現)			2	○		2	演習	2	○	○			
保育内容(表現活動)			2	○		2	演習	2	○	○			
子ども家庭福祉		2		○		2	講義	2	○				
子ども家庭支援論		2		○		2	講義	3	○				
社会的養護Ⅰ		2		○		2	講義	2	○				
子ども家庭支援の心理学		2		○		2	講義	2	○				
幼児理解		1		○		2	演習	3		○			
子どもの保健		2		○		2	講義	1	○				
子どもの食と栄養		2		○		2	演習	2	○				
保育の計画と評価		2		○		2	講義	3	○				
保育の表現技術Ⅰ		2		○		2	演習	3	○				
保育の表現技術Ⅱ		2		○		2	演習	3	○				
乳児保育Ⅰ		2		○		2	講義	1	○				
乳児保育Ⅱ	1		○		2	演習	3	○					
子どもの健康と安全	1		○		2	演習	2	○					
障害児教育	2		○		2	演習	2	○					
社会的養護Ⅱ	1		○		2	演習	2	○					
子育て支援	1		○		2	演習	3	○					
初等中等教育科目	道徳教育論	2		◎	◎	2	講義	3		○	○		※(「教科国語」「教科生活」「教科英語」)からいずれか1科目選択必修
	総合的な学習の時間の指導法	2		◎	◎	2	講義	3		○	○		
	特別活動の指導法	2		◎	◎	2	講義	3		○	○		
	生徒指導・進路指導論	2		◎	◎	2	講義	3		○	○		
	教科国語	2※		○	○	2	講義	1			◆		
	教科社会	2		○	○	2	講義	1			◆		
	教科算数	2		○	○	2	講義	1			◆		
	教科理科	2		○	○	2	講義	1			◆		
	教科生活	2※		○	○	2	講義	1			◆		
	教科音楽	2		○	○	2	講義	1			◆		
	教科図画工作	2		○	○	2	講義	1			◆		
	教科家庭	2		○	○	2	講義	1			◆		
	教科体育	2		○	○	2	講義	1			◆		
教科英語	2※		◎	◎	2	講義	1			◆			

授 業 科 目	単位数					週時間	形態	配当年次	免許資格				備 考
	必修	選択	(コース必修)						保	幼	小	中	
			乳幼児	子ども	英専								
初等中等教育科目	国語科教育法Ⅰ		2		○	○	2	講義	2			○	
	国語科教育法Ⅱ		2		○	○	2	講義	3			■	
	社会科教育法Ⅰ		2		○	○	2	講義	2			○	
	社会科教育法Ⅱ		2		○	○	2	講義	3			■	
	算数科教育法Ⅰ		2		○	○	2	講義	2			○	
	算数科教育法Ⅱ		2		○	○	2	講義	3			■	
	理科教育法Ⅰ		2		○	○	2	講義	2			○	
	理科教育法Ⅱ		2		○	○	2	講義	3			■	
	生活科教育法		2		○	○	2	講義	2			○	
	音楽科教育法		2		○	○	2	講義	2			○	
	図画工作科教育法		2		○	○	2	講義	2			○	
	家庭科教育法		2		○	○	2	講義	2			○	
	体育科教育法		2		○	○	2	講義	2			○	
	英語科教育法		2		◎	◎	2	講義	2			○	
	水泳指導法		1		○	○	2	実習	2				
	中学校英語指導法Ⅰ		2		○	○	2	講義	2				○
	中学校英語指導法Ⅱ		2		○	○	2	講義	3				○
	中学校英語指導法Ⅲ		2		○	○	2	講義	3				○
	中学校英語指導法Ⅳ		2		○	○	2	講義	4				○
	児童英語教育論		2		○	○	2	講義	3			■	
	英語教材研究		2		○	○	2	講義	3			■	
	学習指導の技術Ⅰ		2		○	○	2	講義	3				
	学習指導の技術Ⅱ		2		○	○	2	講義	3				
	専門科目	第二言語教育論		2		△	△	2	講義	3			
英語学Ⅰ			2		◎	◎	2	講義	2				○
英語学Ⅱ			2		◎	◎	2	講義	3				○
Children's Literature			2		△	△	2	講義	3				▽
初級英語コミュニケーションⅠ			1		◎	◎	2	演習	2				○
初級英語コミュニケーションⅡ			1		◎	◎	2	演習	2				○
中級英語コミュニケーションⅠ			1		△	△	2	演習	3				○
中級英語コミュニケーションⅡ			1		△	△	2	演習	3				○
上級英語コミュニケーションⅠ			1		△	△	2	演習	4				○
上級英語コミュニケーションⅡ			1		△	△	2	演習	4				○
英語プレゼンテーション			1		△	△	2	演習	3				▽
海外の子どもと教育Ⅰ			2		△	△	2	講義	2				▽
海外の子どもと教育Ⅱ			2		△	△	2	講義	2				▽
Children's Life in English			2		△	△	2	講義	3				▽
実用英語Ⅰ			1		△	△	2	演習	1				
実用英語Ⅱ			1		△	△	2	演習	1				
実用英語Ⅲ			1		△	△	2	演習	2				
実用英語Ⅳ			1		△	△	2	演習	2				
TOEIC演習Ⅰ			1		△	△	2	演習	3				
TOEIC演習Ⅱ			1		△	△	2	演習	3				
メディアの英語 a			1		△	△	2	演習	2				
メディアの英語 b			1		△	△	2	演習	2				
ホスピタリティ英語			1		△	△	2	演習	1				
保育・教育の英語			1		△	△	2	演習	1				
Japanese Culture in English		2		◎	◎	2	講義	3					
海外英語研修		1		△	△	集中	実習	1					
卒業研究		6											6単位

国際観光光学科	授 業 科 目	単位数					週時間	形態	配当年次	免許資格				備 考
		必修	選択	(コース必修)						保	幼	小	中	
				乳幼児	子ども	英専								
	英語文学Ⅰ		2				2	講義	2				○	学部学科間履修により履修してください。
	英語文学Ⅱ		2				2	講義	3				○	

コース略称：「乳幼児」…乳幼児保育コース、「子ども」…子ども教育コース、「英専」…子ども教育コース（英語教育専修）  
各コースにおいて、「◎」…コース必修、「○」…14単位選択必修、「△」…14単位選択必修

免許資格欄：○…免許資格の必修科目 ☆★◇◆□■▲△…免許資格の選択科目

保（保育士資格）：▲から6単位以上修得。

幼（幼稚園教諭一種免許状）：☆1か☆2を選択必修。◇から1科目選択必修。専門科目の○・☆1・☆2・◇・□から51単位以上修得。

小（小学校教諭一種免許状）：★1か★2を選択必修。◆から10単位以上修得。専門科目の○・★1・★2・◆・■から59単位以上修得。

中（中学校教諭一種免許状（英語））：▽から4単位以上修得。○と▽と▼から59単位以上修得。



# 履修要項



# 目 次

はじめに	4
1. 教育目的と教育方針	5
1) 平安女学院大学の教育目的	5
2) 平安女学院大学の教育に関する方針	5
2. 授業科目および単位	7
1) 大学の授業とは	7
2) 「履修」という言葉の意味	7
3) 授業科目の内容による区分	7
4) 科目の履修上の区分	8
5) 単位	8
6) 卒業要件単位	9
3. 履修登録	10
1) 単位修得の流れ	10
2) 卒業要件単位および各学科修得単位数	10
3) 履修条件	13
4) 配当年次	19
5) 履修登録にあたって	19
6) 履修登録の流れ	20
7) 履修登録の手続き	20
4. 授業のしくみ	23
1) セメスター制	23
2) 授業時間	23
3) 欠席・公欠・忌引き	23
4) 遅刻	24
5) 休講	24
6) 補講	26
7) 補充授業	26
8) 集中講義	26
9) 学外実習	26
10) 不開講、時間割・教室変更	26
11) 出欠	26
12) 出欠確認	27
13) 受講マナーについて (マナー憲章)	27

5. 試験	28
1) 試験の形態	28
2) 定期試験	28
3) 追試験	28
4) 再試験 (4年次のみ対象)	29
5) 筆記試験について	30
6) レポート試験・制作物等について	30
7) 実技試験について	31
8) 試験の休講等の取り扱い	31
6. 成績と単位認定	32
1) 成績の評価基準	32
2) GPA (Grade Point Average) について	32
3) 成績通知	33
4) 成績評価の異議申立	33
5) 学部学科間履修	33
6) 単位の認定	33
7. 免許・資格の取得	34
1) 国際観光学部国際観光学科	34
2) 子ども教育学部子ども教育学科	34
8. カリキュラム	47
1) 国際観光学部国際観光学科	47
2) 子ども教育学部子ども教育学科	61
9. 留学制度	77
1) 国際観光学部	77
2) 子ども教育学部	77
10. 卒業後の学修制度	78
11. 学生による授業改善のためのアンケート	78

## はじめに

1 この『履修要項』には、履修方法、授業科目一覧、資格取得の手引きをおさめています。履修方法には、卒業のために必要な授業科目と単位数が詳しく記されています。また、資格項目ごとに資格取得に必要な事項が記されています。

この『履修要項』は、次年度以降の履修登録の際にも必要となりますので卒業まで大切に保管し、絶えず履修方法を確認してください。

そのほかに、履修に関する根本となる諸規程などは『学生手帳』に記載されていますので、それらをあわせて熟読し、内容を理解して、しっかりとした履修計画を立てて、正確な履修登録をするように心がけねばなりません。

2 大学における履修計画及び単位修得は、自分自身の問題であり、学生本人の責任においてなされるべきものです。自分で将来の進路をよく考えて、適切に判断し、確実に単位を修得していくようにしなければなりません。

履修にあたっての疑問については、担任とよく相談し、また、学科の教務委員の先生あるいは教務担当の職員に問い合わせるなどして、不審な点を残さないようにしておく必要があります。

3 単位修得の確認についても、自分自身で確実にを行う必要があります。春学期・秋学期の成績評価の結果を確認し、大切に保管してください。

4 各学年の初めの履修登録の際には、この『履修要項』と自分の成績を十分に見て、履修に誤りのないようにしなければなりません。

5 単位修得に際しては、十分に余裕のある計画で臨み、卒業に必要な単位数をそろえるように心がけてください。そのうえで、講義・演習科目であれ、実験・実習・実技科目であれ、意欲的に幅広く学習する姿勢をもって臨んでください。

6 履修に関する教学上の注意事項は、その都度、教務関係の掲示板に貼り出しますので、諸手続きなどを期限内に確実に済ませねばなりません。重要な情報については、必ず自分自身で確認しておく必要があります。

# 1. 教育目的と教育方針

## 1) 平安女学院大学の教育目的

本学はキリスト教の精神に基づく教育を通して、自由で自立した人格を形成するとともに、建学の精神－『知性を広げ、望みを高くし、感受性を豊かにし、そして神を知らせる』－を体得した人間を育成し、地域社会ならびに国際社会に積極的に貢献する人材を養成することを目的とする。

## 2) 平安女学院大学の教育に関する方針

本学では、教育目的を達成するために、教育に関する方針を定めて、教育活動を展開しています。

### (1) 学位授与の方針（ディプロマポリシー）

キリスト教の精神に基づく教育を通して、自由で自立した人格を形成するとともに建学の精神である「知性を広げ、望みを高くし、感受性を豊かにし、そして神を知らせる」を体得した人間を育成し、地域社会ならびに国際社会に積極的に貢献する人材を養成することを目標に掲げ、その実現を目指した教育課程を編成している。

- ・建学の精神を体得した人間の姿として躰（マナー）・心得（スキル）・愛（思いやり）という3つの資質を備える。
  - ・社会人としての基礎である「ジェネリックスキル」を修得するとともに、専門分野の学びを通して「学士力」を身につけ、インターンシップや実習等を通して「社会人基礎力」を体得する。
- 卒業までに上記の能力を身につけ、所定の課程を修了した学生には卒業が認定され、学位が授与される。

#### ① 国際観光学部国際観光学科

- ・本学の建学の精神およびキリスト教の精神に基づく人間性と、豊かな教養を有している。
- ・課題発見、探究能力、実行力を核とするジェネリックスキルを身につけている。
- ・ホスピタリティ精神をもって他者と接することができる。
- ・観光の学びを通して、日本・世界の社会や文化の多様性を理解している。
- ・地域社会の課題を理解し、さまざまな地域活動に取り組み、地域に貢献できる能力を有している。
- ・国際的な環境の中で、能動的なコミュニケーションをすることができる。

#### ② 子ども教育学部子ども教育学科

- ・本学の建学の精神およびキリスト教の精神に基づく人間性と、豊かな教養を有している。
- ・子どもの教育や保育に関する幅広い知識および技能を身につけ、それを応用し、実践につなげることができる。
- ・子どもの教育や保育に関わる専門家としての責任感、倫理観を持って、社会に貢献することができる。
- ・子どもを取り巻く様々な課題を多角的にとらえ、必要な情報を収集、分析、整理し、問題解決に向けて創造的に思考することができる。
- ・社会性を身につけ、他者に共感し協働してものごとに取り組むことができる。

## (2) 教育課程の方針（カリキュラムポリシー）

### ① 国際観光学部国際観光学科

- ・「教養科目」においては、「キリスト教学」「ジェネリックスキル」を必修科目とする。基本的な知識・技能を身につけ、また、社会人として必要となる知識と技能を身につけるために「基礎科目」「教養展開科目」を配置する。
- ・「専門科目」においては、「観光ホスピタリティ・京都学コース」「外国語特修コース」両コース共通して学ぶべき科目と卒業研究科目を必修科目とする。
- ・各コースで求められる専門的な知識と技能を段階的に身につけるため、専門科目を「専門導入」「専門基礎」「専門展開」の各科目群に配置する。
- ・京都の伝統文化を学ぶ演習科目、京都のおもてなしや歴史・文化を学ぶ科目を配置し、京都のホスピタリティと文化を理解する。
- ・国際観光学を実践的に学ぶために「実習科目」を配置し、国際観光学の諸分野で必要とされる体験知を獲得する。

### ② 子ども教育学部子ども教育学科

- ・豊かな教養を身につけるために「教養科目」を置き、「キリスト教学」、「キリスト教文化」を必修科目としてキリスト教の精神に基づく人間性を涵養するとともに、「伝統文化論（茶道）」を通して日本文化への理解を深められるようにする。
- ・「学部基幹科目」、「専門発展科目」、「子ども教育科目」、「乳幼児保育科目」、「初等中等教育科目」、「英語教育科目」を体系的に設置し、子どもの教育・保育に関する専門知識、技能を修得できるようにするとともに、少人数での演習を通して応用力を身につける。
- ・「実習科目」を置き、現場での学びを通して必要な技術を身につけ、教育・保育の専門家としての責任感、倫理観を育成できるようにする。
- ・自ら課題を設定し、調査研究や討議を行う演習科目を段階的に設置し、創造的思考力を高めることによって課題解決力を育て、自らの研究テーマについて卒業研究を通して深めることで、生涯にわたって学び続ける力をつける。
- ・行政と連携したインターンシップ科目を置くとともに、地域におけるボランティア等の体験的な学びを充実させ、組織的、計画的に活動することで社会性や他者との協働性を身につけた社会に貢献できる学生を育てられるようにする。

## 2. 授業科目および単位

### 1) 大学の授業とは

大学の授業は単位制です。大学を卒業するためには、卒業に必要とされる科目を履修して一定以上の単位を修得しなければなりません。

### 2) 「履修」という言葉の意味

「履修」とは、規定された学科や課程を学びおえることです。大学を卒業するためには、いくつかの条件やルールがあり、それにしたがって学修することを意味します。

「履修」は、みなさんが決定し、それを大学に申告することから始まります。すなわち「履修登録をする」という手続きをとることから始まります。この手続きを行わなかった場合、いくら授業に出席しても、どんなに勉強しても、試験を受けても単位は認められません。つまり大学での学生生活の第一歩は「履修登録をする」ことから始まります。

### 3) 授業科目の内容による区分

授業科目は、その性質により教養科目と専門科目に区分されます。この2つの科目群は、相互に補完しあい、全体で各学部の教育目標を実現するもので、区分ごとに履修しなければならない単位数が定められています。

#### (1) 教養科目

教養科目とは、専門科目を学ぶ上で必要とされる基礎的な学修態度と、専門科目だけでは得られない幅広い知識やものの見方・考え方を学ぶための科目です。

##### ① 基礎科目

本学の特色である「キリスト教の精神に基づく教育」の基盤であるキリスト教を学ぶとともに、大学での学修を進める上で必要とされる学修方法や学問探究の基礎的な考え方を学ぶ科目です。

##### ② 教養展開科目

専門科目だけでは得られない幅広い知識やものの考え方を学び、それらを用いて専門科目の内容を様々な方面から検証できる力を養い、学際的で自立した思考力をもつ人間性豊かな教養人を目指す科目です。また、一定の科目をまとめて受講することにより、教養を深めることもできます。

#### (2) 専門科目

各学部の専門性を身につけるために用意された科目です。科目の構成は学部によって異なります。より専門性を深めるために専門領域をさらに細分化して用意しています。また、学年が進むことにより専門性の高い科目が用意されていますので、段階的に深めていくことができます。

#### 4) 科目の履修上の区分

種 類	科 目 説 明
必修科目	卒業のために必ず履修しなければならない科目。したがって、卒業するには修得できるまで履修しなければなりません
選択必修科目	指定された科目の中から任意に選択し、卒業のために必ず修得しなければならない科目
選択科目	自由に選択して履修することができる科目

#### 5) 単 位

##### (1) 単位とは

単位とは科目を修得するために必要な学修量を測るときに用いる数値的な呼び方です。長さや重さや量を測る単位は、それぞれメートル、グラム、リットルですが、学修量を測る単位は「単位」を使います。同じ単語なので、紛らわしいですが、大学の授業関連で単位と言えば学修量のことです。

学修量は学修時間数によって決められており、45時間で1単位とします。授業時間以外に予習・復習等の自主的な学習時間を含みます。

##### (2) 単位と授業時間

本学では、1 講時 90 分の授業が行なわれますが、単位計算上は 90 分の授業時間を 2 時間として計算します。

各授業科目の単位数は、授業形態により次の基準で計算します。

授 業 形 態	授 業 時 間 数	授 業 時 間 外 学 修 時 間 数	学 修 時 間 数
講 義	15 時間 (週 1 時間 × 15 週)	30 時間 (2 時間 × 15 週)	45 時間
演 習	15 時間 (週 1 時間 × 15 週)	30 時間 (2 時間 × 15 週)	45 時間
	30 時間 (週 2 時間 × 15 週)	15 時間 (1 時間 × 15 週)	45 時間
実 習 ・ 実 技 ・ 実 験	30 時間 (週 2 時間 × 15 週)	15 時間 (1 時間 × 15 週)	45 時間
	45 時間 (週 3 時間 × 15 週)		45 時間

計算からわかるように、教室にいる時間だけでなく、予習・復習・自習など教室外での学習が行われるものと最初から想定されています。

例えば、講義科目では、1 回の授業 (2 時間) に対して 4 時間の自習が必要だと計算されています。ただ授業を聞いているだけでは、授業はそもそも理解することは困難である、ということを大学の単位制度は意味しているのです。このことは大学の学修の大きな特徴です。履修の計画を立てる際に注意してください。

## 6) 卒業要件単位

本学を卒業するためには、カリキュラム表に従い、4年以上在学のうえ、教養科目と専門科目を合わせて128単位以上修得しなければなりません。

その他、各科目区分においても修得しなければならない単位数があり、それぞれの科目区分において必要単位数以上を修得しなければなりません。これが1単位でも不足すれば、卒業は認められません。

なお、卒業した者には以下の学位が授与されます。

国際観光学部	国際観光学科	学士（国際観光学）
子ども教育学部	子ども教育学科	学士（子ども教育学）



### 3. 履修登録

#### 1) 単位修得の流れ

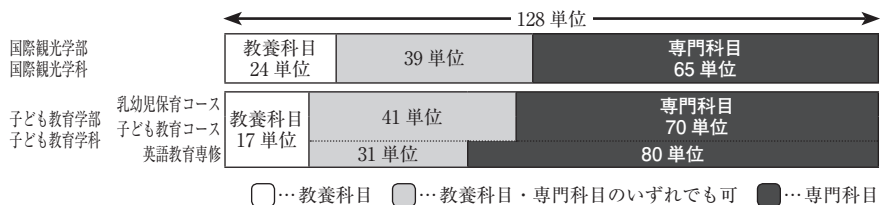
単位を修得するには、まず科目の「履修登録」を行い、試験結果や平常の評価が合格点に達しなければなりません。単位修得の流れは、次のとおりです。



#### 2) 卒業要件単位および各学科修得単位数

卒業をするためには教養科目と専門科目をあわせて128単位以上修得しなければなりません。

##### 【各学科修得単位数表】



#### (1) 教養科目 (各学科修得単位数表の□)

##### ① 国際観光学科：24単位以上

科目区分	卒業必修科目	備考
基礎科目A	「キリスト教学」 「ジェネリックスキルⅠ」 「ジェネリックスキルⅡ」 「ジェネリックスキルⅢ」 「ジェネリックスキルⅣ」 「ジェネリックスキルⅤ」 「ジェネリックスキルⅥ」 「ジェネリックスキルⅦ」 「ジェネリックスキルⅧ」 「ジェネリックスキルⅧ」	・卒業必修
基礎科目B	—	・4単位以上を履修してください。
教養展開科目A	—	・4単位以上を履修してください。
教養展開科目B	—	・6単位以上を履修してください。

※単位互換制度で修得した科目は、「教養展開科目」の「現代の教養」の単位として認定します。

② 子ども教育学科：17 単位以上

科目区分	卒業必修科目	備 考
基 礎 科 目	「キリスト教学」 「キリスト教文化」 「日本語表現法」 「英語Ⅰ」 「英語Ⅱ」 「情報技術Ⅰ」 「ジェネリックスキルⅠ」 「ジェネリックスキルⅡ」	・必修科目を含め 11 単位以上を履修してください。
教養展開科目 A	—	・4 単位以上を履修してください。
教養展開科目 B	「伝統文化論（茶道）Ⅰ」 「伝統文化論（茶道）Ⅱ」	・必修科目を含め 2 単位以上を履修してください。

※単位互換制度で修得した科目は、「教養展開科目」の「現代の教養」の単位として認定します。

(2) 専門科目（各学科修得単位数表の           ）

各学科の専門科目分類および免許・資格の取得のために必要な科目を見極めたくうえで、自分が履修する科目を選び、履修登録を行ってください。

① 国際観光学科：65 単位以上

科目区分	卒業必修科目	備 考
専 門 導 入 科 目	「コミュニケーション論」 「観光概論」 「国際観光論」 「ホスピタリティ社会論」	・必修科目を含め 10 単位以上履修してください。
専 門 基 礎 科 目	—	・16 単位以上履修してください。
専 門 展 開 科 目	—	・14 単位以上履修してください。
京都ホスピタリティ科目	「伝統文化論（茶道）Ⅰ」 「伝統文化論（茶道）Ⅱ」	・必修科目を含め 8 単位以上履修してください。
実 習 科 目	—	・4 単位以上履修してください。
卒 業 研 究 科 目	「観光学基礎演習」 「観光学講読演習Ⅰ」 「観光学講読演習Ⅱ」 「専門演習Ⅰ」 「専門演習Ⅱ」 「専門演習Ⅲ」 「専門演習Ⅳ」 「卒業研究」	・必修科目を含め 13 単位以上履修してください。

② 子ども教育学科：70 単位以上

科目区分	卒業必修科目	備 考
学部基幹科目	「教育原理」 「発達心理学」 「子ども学研究入門Ⅰ」 「子ども学研究入門Ⅱ」 「子ども学専門演習Ⅰ」 「子ども学専門演習Ⅱ」 「子ども学専門演習Ⅲ」 「子ども学専門演習Ⅳ」	・必修科目を含め 18 単位以上を履修してください。 ・「教職論（幼・保）」「教職論（小・中）」のいずれかは選択必修です。
実 習 科 目	「教職実践演習（幼・小・中）」	
専門発展科目	—	・4 単位以上を履修してください。
子ども教育科目	「比較教育制度論」 「特別支援教育論」 「教育課程論」 「音楽基礎（ソルフェージュ）」	・42 単位以上を履修してください。 ・「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」からいずれか 1 科目選択必修です。 ・「教科国語」「教科生活」「教科英語」からいずれか 1 科目選択必修です。
乳幼児保育科目	「保育内容総論」	
初等中等教育科目	—	
卒 業 研 究	「卒業研究」	
		・卒業必修

上記、卒業必修科目に併せて、各コース別に必修科目が設けられています。

《乳幼児保育コース》

科目区分	コース必修科目	備 考
乳幼児保育科目	—	・「保育内容総論」を含め 14 単位以上を履修してください。

《子ども教育コース》

科目区分	コース必修科目	備 考
専門発展科目	「異文化理解」	・コース必修
初等中等教育科目	「道徳教育論」 「総合的な学習の時間の指導法」 「特別活動の指導法」 「生徒指導・進路指導論」 「教科英語」 「英語科教育法」	・左記科目の他、14 単位以上を履修してください。

### 《子ども教育コース（英語教育専修）》

科目区分	コース必修科目	備 考
専門発展科目	「異文化理解」	・コース必修
初等中等教育科目	「道德教育論」 「総合的な学習の時間の指導法」 「特別活動の指導法」 「生徒指導・進路指導論」 「教科英語」 「英語科教育法」	・左記科目の他、14単位以上を履修してください。
英語教育科目	「英語学Ⅰ」 「英語学Ⅱ」 「初級英語コミュニケーションⅠ」 「初級英語コミュニケーションⅡ」 「Japanese Culture in English」	・左記科目の他、14単位以上を履修してください。

### (3) 教養科目および専門科目（各科修得単位数表の )

各学科修得単位数表のとおり、教養科目・専門科目のいずれかから、国際観光学科生は39単位以上、子ども教育学科生は41単位以上を履修する必要があります。

## 3) 履修条件

### 国際観光学科

#### (1) 「イタリア語」「フランス語」

科目区分等	授業科目等	単位数		条件
		必修	選択	
基礎科目B	「イタリア語Ⅱ」 「フランス語Ⅱ」		1	「イタリア語Ⅰ」修得済
			1	「フランス語Ⅰ」修得済

#### (2) 「伝統文化論（茶道）Ⅰ」～「伝統文化論（茶道）Ⅷ」

科目区分等	授業科目等	単位数		条件
		必修	選択	
京都の伝統文化	「伝統文化論（茶道）Ⅰ」	1		「伝統文化論（茶道）Ⅰ」修得済 「伝統文化論（茶道）Ⅱ」修得済 「伝統文化論（茶道）Ⅲ」修得済 「伝統文化論（茶道）Ⅳ」修得済 「伝統文化論（茶道）Ⅴ」修得済 「伝統文化論（茶道）Ⅵ」修得済 「伝統文化論（茶道）Ⅶ」修得済 「伝統文化論（茶道）Ⅷ」修得済
	「伝統文化論（茶道）Ⅱ」	1		
	「伝統文化論（茶道）Ⅲ」		1	
	「伝統文化論（茶道）Ⅳ」		1	
	「伝統文化論（茶道）Ⅴ」		1	
	「伝統文化論（茶道）Ⅵ」		1	
	「伝統文化論（茶道）Ⅶ」		1	
	「伝統文化論（茶道）Ⅷ」		1	

### (3) 実習科目

科目区分等	授業科目等	単位数		条件
		必修	選択	
実習科目	「観光ボランティアⅡ」		1	「観光ボランティアⅠ」修得済
	「海外語学研修Ⅱ」		3	「海外語学研修Ⅰ」修得済
	「ビジネス・インターンシップⅡ」		2	「ビジネス・インターンシップⅠ」修得済
	「観光フィールドワークⅡ」		3	「観光フィールドワークⅠ」修得済
	「京都観光案内実習Ⅱ」		2	「京都観光案内実習Ⅰ」修得済

### 子ども教育学科

#### (1) 「伝統文化論（茶道）Ⅰ」～「伝統文化論（茶道）Ⅷ」

科目区分等	授業科目等	単位数		条件
		必修	選択	
教養展開科目	「伝統文化論（茶道）Ⅰ」	1		「伝統文化論（茶道）Ⅰ」修得済 「伝統文化論（茶道）Ⅱ」修得済 「伝統文化論（茶道）Ⅲ」修得済 「伝統文化論（茶道）Ⅳ」修得済 「伝統文化論（茶道）Ⅴ」修得済 「伝統文化論（茶道）Ⅵ」修得済 「伝統文化論（茶道）Ⅶ」修得済 「伝統文化論（茶道）Ⅷ」修得済
	「伝統文化論（茶道）Ⅱ」	1		
	「伝統文化論（茶道）Ⅲ」		1	
	「伝統文化論（茶道）Ⅳ」		1	
	「伝統文化論（茶道）Ⅴ」		1	
	「伝統文化論（茶道）Ⅵ」		1	
	「伝統文化論（茶道）Ⅶ」		1	
	「伝統文化論（茶道）Ⅷ」		1	

#### (2) 「子ども学専門演習Ⅰ」

科目区分等	授業科目等	単位数		条件
		必修	選択	
学部基幹科目	「子ども学研究入門Ⅰ」	1		いずれか修得済
	「子ども学研究入門Ⅱ」	1		

#### (3) 「保育内容」

科目区分等	授業科目等	単位数		条件
		必修	選択	
乳幼児保育科目	「保育内容（健康）」		2	「健康」修得済
	「保育内容（人間関係）」		2	「人間関係」修得済
	「保育内容（環境）」		2	「環境」修得済
	「保育内容（言葉）」		2	「言葉」修得済
	「保育内容（表現活動）」		2	「表現」修得済
	「保育内容（造形表現）」		2	「表現」修得済

## (4)「教育実習a」

科目区分等	授業科目等	単位数		条件	
		必修	選択		
学部基幹科目	「教育原理」	2		8単位以上修得済	
	「発達心理学」 「教職論（幼・保）」	2	2		
子ども教育科目	「教育課程論」		2		
	「教育方法論」		2		
	「幼児教育方法論」		2		
乳幼児保育科目	「健康」		2	10単位修得済	
	「人間関係」		2		
	「環境」		2		
	「言葉」		2		
	「表現」		2		
	「保育内容総論」			2	10単位以上修得済
		「保育内容（健康）」		2	
		「保育内容（人間関係）」		2	
		「保育内容（環境）」		2	
		「保育内容（言葉）」		2	
「保育内容（造形表現）」			2		
「保育内容（表現活動）」		2			
学部基幹科目	「体験実習 a I」		1	1単位以上修得済	
	「体験実習 a II」		1		
子ども教育科目	「総合教育」		1	2単位以上修得済	
	「器楽Ⅲ」		1		
	「器楽Ⅳ」		1		
上記科目の合計		31以上		31単位以上修得済	
教育実習指導 a のうち事前指導		—		全て受講	

※編入生等は個別に検討する。

## (5)「教育実習b」

科目区分等	授業科目等	単位数		条件		
		必修	選択			
学部基幹科目	「教育原理」	2		8 単位以上修得済		
	「発達心理学」	2				
子ども教育科目	「教職論(小・中)」		2			
	「教育課程論」		2			
	「教育方法論」		2			
初等中等教育科目	「教育相談」		2	14 単位以上修得済		
	「教科国語」		2			
	「教科社会」		2			
	「教科算数」		2			
	「教科理科」		2			
	「教科生活」		2			
	「教科音楽」		2			
	「教科図画工作」		2			
	「教科家庭」		2			
	「教科体育」		2			
	「教科英語」		2			
	初等中等教育科目	「国語科教育法Ⅰ」			2	14 単位以上修得済
		「社会科教育法Ⅰ」			2	
		「算数科教育法Ⅰ」			2	
「理科教育法Ⅰ」			2			
「生活科教育法」			2			
「音楽科教育法」			2			
「図画工作科教育法」			2			
「家庭科教育法」			2			
「体育科教育法」			2			
「英語科教育法」		2				
学部基幹科目	「体験実習 aⅠ」		1	1 単位以上修得済		
	「体験実習 aⅡ」		1			
子ども教育科目	「総合教育」		1	1 単位修得済		
上記科目の合計		38 以上		38 単位以上修得済		
教育実習指導 b のうち事前指導		-		全て受講		

※編入生等は個別に検討する。

## (6)「教育実習c」

科目区分等	授業科目等	単位数		条件
		必修	選択	
学部基幹科目	「教育原理」	2		8 単位以上修得済
	「発達心理学」 「教職論（小・中）」	2	2	
子ども教育科目	「教育課程論」		2	
	「教育方法論」		2	
英語教育科目	「英語学Ⅰ」		2	12 単位以上修得済
	「英語学Ⅱ」		2	
	「初級英語コミュニケーションⅠ」		1	
	「初級英語コミュニケーションⅡ」		1	
	「中級英語コミュニケーションⅠ」		1	
	「中級英語コミュニケーションⅡ」		1	
	「異文化理解」		2	
国際観光学科専門科目	「英語文学Ⅰ」		2	
	「英語文学Ⅱ」		2	
初等中等教育科目	「中学校英語指導法Ⅰ」		2	6 単位修得済
	「中学校英語指導法Ⅱ」		2	
	「中学校英語指導法Ⅲ」		2	
学部基幹科目	「体験実習 aⅠ」		1	1 単位以上修得済
	「体験実習 aⅡ」		1	
子ども教育科目	「総合教育」		1	1 単位修得済
上記科目の合計		28 以上		28 単位以上修得済
教育実習指導 c のうち事前指導		-		全て受講

※編入生等は個別に検討する。



## (7) 「保育実習 I a」

科目区分等	授業科目等	単位数		条件
		必修	選択	
学部基幹科目	保育原理	2	2	修得済
	発達心理学			
	教職論(幼・保)		2	
	社会福祉原論 I		2	
	体験実習 a I		1	
子ども教育科目	音楽基礎(ソルフェージュ)	1		
乳幼児保育科目	子どもの保健 保育内容総論	2	2	
子ども教育科目	器楽 I 器楽 II		1 1	1 単位以上修得済
実習科目	保育実習指導 I a		1	履修中
乳幼児保育科目	社会的養護 I		2	修得済もしくは履修中
	乳児保育 I		2	
	乳児保育 II		1	
	子どもの健康と安全		1	
	保育内容(健康)		2	
	保育内容(人間関係)		2	
	保育内容(環境)		2	
	保育内容(言葉)		2	
	保育内容(表現活動)		2	
保育内容(造形表現)		2		
上記科目の合計		34 以上		34 単位以上修得済もしくは履修中

## (8) 「保育実習 I b」

保育実習 I a の履修条件に以下を加えたものとする。

科目区分等	授業科目等	単位数		条件
		必修	選択	
乳幼児保育科目	保育の計画と評価 障害児教育		2 2	修得済もしくは履修中
実習科目	保育実習指導 I b		1	履修中

## (9) 「保育実習 II」

保育実習 I b の履修条件に以下を加えたものとする。

科目区分等	授業科目等	単位数		条件
		必修	選択	
実習科目	保育実習指導 II		1	履修中

## 4) 配当年次

1年次生は1年次配当科目、2年次生は1年次・2年次配当科目、3年次生は1年次・2年次・3年次配当科目、4年次生はすべての年次の配当科目を履修することができます。

## 5) 履修登録にあたって

履修登録にあたっては、「2019年度履修要項」「時間割表」「履修登録マニュアル」「学生時間割表（控）（手書き用）」を準備してください。履修登録の前に、卒業するにはどの科目を受講しなければならないか、免許・資格を取得するために必要な科目は何かなどを理解するために、この履修要項を熟読してください。登録手続きを行わなかった場合、たとえ授業に出席し、試験を受けても単位は認められません。

履修登録は、「UNIPA（Web履修システム）」を利用してWeb上で行います。

「UNIPA」を利用するためには個人用IDとパスワードが必要です。

「UNIPA」は、履修登録だけでなく、シラバスや試験の結果、授業の出欠状況、成績を確認する際にも使用しますので、IDとパスワードは、各自が責任をもって管理してください。

### (1) 履修要項

「履修登録」(P.10～)には、履修登録に関する詳細や登録の留意点を記載しています。

「免許・資格の取得」(P.34～)には、取得できる免許資格の種類や取得に必要な科目などを記載しています。

「カリキュラム表」(P.47～)には、授業科目、科目の種類、単位数、授業形態、配当年次などを記載しています。

### (2) 時間割表

登録する科目がどの時間帯に開設されているかを確認してください。

### (3) 履修登録マニュアル

「UNIPA」で登録するための方法や、シラバスを確認する方法を記載しています。

### (4) 学生時間割表（控）

Web登録をする前にこの用紙に手書きで時間割を作成してください。「学生時間割表（控）」は履修登録後も必ず保管しておいてください。

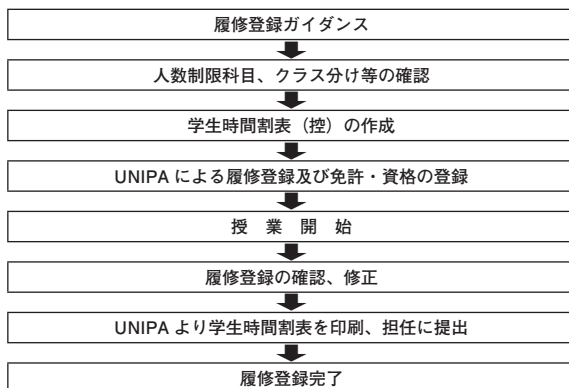
### (5) シラバス

授業科目の履修条件、授業の概要、目標、授業計画、成績評価、教科書・参考書などが記載されています。「シラバス」は、「UNIPA」で確認できます。操作方法は、「履修登録マニュアル」を参照してください。

各自、履修を希望する科目の授業内容を「シラバス」でよく理解してください。同じ科目名でも、担当者によって授業の内容が異なることがありますので、十分に確認してください。

## 6) 履修登録の流れ

履修登録は、次のような流れで行われます。



## 7) 履修登録の手続き

### 【履修登録】

- 1) その年度の春学期、秋学期に履修しようとするすべての科目を登録してください。
- 2) 「学生時間割表(控)」に手書きで各自の時間割を作成し、それを元に指定された期間に Web 履修登録をしてください。
- 3) Web 履修登録期間終了後は、科目の変更・追加・取消は原則として認めません。
- 4) 履修登録の日程は、別紙の「履修登録の流れおよび日程」を参照してください。
- 5) 登録した科目は、最後まで履修してください。
- 6) 登録に関する連絡は、すべて掲示で行いますので、常に確認してください。

### 【登録単位の制限】

1 セメスターに登録できる授業科目は原則として 22 単位までとします。  
22 単位の中には、卒業研究、学外での実習、単位互換科目の単位を含みません。また、次の場合は 22 単位の上限を超えることができます。

- ① 2 年次以降、通算 GPA 3.30 以上の成績優秀者は 30 単位まで登録できます。
- ② 子ども教育学科生が、複数の資格を取得しようとする場合は、次表の上限単位数です。
- ③ 卒業要件単位数を満たす必要等がある場合は、1 セメスター 30 単位までの登録を認める場合があります。

## 《子ども教育学科》

学年	条 件	登録可能単位数
1年	複数資格取得の場合	30単位まで
2年	複数資格取得の場合	30単位まで
3年	複数資格取得の場合	30単位まで
4年	資格による履修登録増はなし	22単位まで

### 【登録上の注意】

- 1) 既に単位修得済みの科目は、担当者や内容が異なっても再度履修することはできません。
- 2) 春学期と秋学期に同じ科目を登録することはできません。
- 3) 授業科目によっては、クラスが指定されていることがあります。その場合は、指定されたクラスを登録してください。

### 【人数制限のある科目】

人数制限のある科目は、抽選等により受講者を決定します。対象科目および登録方法については、履修登録ガイダンスの際にお知らせします。

### 【免許・資格の登録】

免許・資格の取得希望者は、履修登録の際に免許・資格の登録もあわせて行ってください。1年次は「UNIPA」で登録します。2年次以降に免許・資格の追加や取消を希望する場合は、「《免許・資格》登録・取消願」を教務窓口へ提出してください。

### 【登録の確認】

登録後は、「UNIPA」で「学生時間割表」（春学期・秋学期とも）を印刷し、次の〔確認項目〕にしたがって必ず登録内容を確認してください。

#### 〔確認項目〕

- ① 履修を希望する科目が正しく登録されているか。
- ② 登録をしていない科目が記載されていないか。
- ③ 必修科目および免許・資格取得に必要な授業科目が登録されているか。
- ④ 指定されたクラスが記載されているか。
- ⑤ 「エラー」表示が出ていないか。もし、「エラー」表示が出ていたら、内容を確認し、すぐに訂正してください。「エラー」を訂正しないと登録が完了しません。

### 【履修登録の修正】

- ① Web 履修登録期間内であれば各自で修正をしてください。
- ② Web 履修登録期間終了後、登録の内容に不備がある場合は、履修登録修正期間に限り修正することができます。ただし、授業に出席し履修の意志が確認できる科目に限ります。修正を希望する場合は、教務窓口へ申し出てください。

## 【「学生時間割表」の提出】

履修登録後は、「学生時間割表」を担任に提出してください。

その提出をもって履修登録が完了します。

## 【学部学科間履修制度】

所属する学部学科以外の他の学部や学科で開講している科目を履修することができます。

教養科目、専門科目それぞれ10単位を上限に、卒業要件単位として認めます。登録方法は、「履修登録マニュアル」にしたがってください。

## 【単位互換制度】

単位互換制度とは、他大学の科目を履修し、それを所属大学の単位として認定する制度です。

### (1) 平安女学院大学短期大学部との単位互換制度

平安女学院大学短期大学部の科目を履修した場合は、原則として「教養展開科目」の「現代の教養」として単位を認定します。ただし、本学が認めた場合、「教養科目」または「専門科目」の単位として認定します。単位互換科目については担任に確認してください。登録方法は、「履修登録マニュアル」にしたがってください。

### (2) 大学コンソーシアム京都単位互換制度

- ① 大学コンソーシアム京都が提供する単位互換科目は「教養展開科目」の「現代の教養」の単位として認定します。ただし、3単位以上の科目は2単位で認定されますが、1単位の科目は認定されません。
- ② 出願は「大学コンソーシアム京都 Web 出願システム」を利用します。受講希望者は、別に配布する「履修登録のながれおよび日程」に記載している提出期限内に Web 出願システムに登録後、出願票を印刷し、教務窓口に提出してください。開設科目については、大学コンソーシアム京都のホームページで確認してください。
- ③ 大学コンソーシアム京都のインターンシップ制度については、『インターンシップ・プログラム実習生募集ガイド』で確認してください。
- ④ 大学コンソーシアム京都単位互換科目の休講・補講連絡は、出願時に登録したメールアドレスに自動配信されます。掲示板でもお知らせしますが、大学コンソーシアム京都のホームページも確認してください。

## 【教科書購入について】

授業で使用する教科書は「シラバス」で確認してください。教科書が指定されている授業では教科書は必ず購入してください。教科書を持たないで授業を受けることは、認められません。

春学期科目・通年科目の教科書は春学期に、秋学期科目の教科書は秋学期に購入してください。なお、返本ができませんので十分確認のうえ購入してください。購入方法は、掲示等でお知らせします。

## 4. 授業のしくみ

### 1) セメスター制

本学では、原則 4月1日から9月30日までを春学期、10月1日から翌年3月31日を秋学期とし、1年を2学期に分けています。ただし、一部科目には、通年制となるものがあります。このように1年の授業を2学期に分けて行うことをセメスター制といいます。

### 2) 授業時間

講時配当時間は次のとおりです。

#### 授 業 時 間

I 講時	II 講時	III 講時	IV 講時	V 講時	VI 講時
9:10~10:40	10:50~12:20	13:10~14:40	14:50~16:20	16:30~18:00	18:10~19:40

### 3) 欠席・公欠・忌引き

#### (1) 公 欠

欠席の中には、理由により公欠になるものがあります。公欠として認められた場合、その期間に行われた授業について、補充授業を受けることができます。事後1週間以内に所定の「公欠願」を教務窓口へ提出してください。「公欠願」を提出しない場合、または補充授業を受けなかった場合は、通常どおり欠席となります。

認 定 理 由	添 付 書 類	備 考
忌引き	忌引きについて・ 会葬礼状等※	<別記1>参照
台風その他災害により、交通が途絶し登校が不可能になった場合	延着証明書等	
居住地域または通学途中の地域に特別警報又は暴風警報が発令された場合	—	
学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症に罹患した場合	診断書・ 登校許可書等※	<別記2>参照
免許・資格取得のための実習（教育実習等）	—	
その他教授会で認められた場合	—	

※不明な場合は教務窓口でおたずねください。

<別記1> 忌引きとして認められるのは、次のとおりです。

「忌引きについて」は大学ホームページよりダウンロードができます。

続 柄	認定期間
父母・養父母	7日間
祖父母・曾祖父母・兄弟姉妹	3日間
叔父叔母	1日間

<別記2> インフルエンザ等の感染症に罹患した場合、必ず医師の治癒証明（登校許可書）をもらってから登校してください。「登校許可書」は大学ホームページよりダウンロードができます。

## (2) 欠席届の提出について

### ① 病気による欠席届の提出について

病気による欠席は公欠扱いにはなりません。欠席が7日以内の場合は授業の担当教員に直接申し出てください。引き続き1週間以上2ヶ月以内欠席する場合は、所定の欠席届を教務窓口へ提出してください。2ヶ月以上欠席する場合は、休学を願い出ることができます。

欠席届の提出が必要な場合は、次の手順により手続きしてください。

- ① 教務窓口にて、欠席届の用紙を受け取る。
- ② 必要事項を記入し、担任・保証人の捺印を得る。
- ③ 欠席届を教務窓口へ提出する。

### ② 就職試験等による欠席届の提出について

就職試験等で授業を欠席する時は、「授業欠席届」を提出してください。詳細は学生サービスチームに確認してください。

## 4) 遅 刻

遅刻した場合は、その理由を担当教員に直接申し出てください。所定の様式はありません。

## 5) 休 講

- (1) 行事等、教授会で認められた場合、授業担当者の事情により授業が行えない場合は休講とします。
- (2) 休講は基本的に大学の掲示板に貼り出しますが、「UNIPA」に自分のメールアドレス（パソコン、携帯電話いづれも可）を登録すると、休講連絡メールを受け取ることが出来ます。ただし、担当教員が事前に周知している場合、授業当日の急な休講の場合は、休講連絡メールが配信されない場合があります。
- (3) 気象警報発令時および交通機関運休時の休講の扱い

### 【京都キャンパス】

次の①または②の場合、授業を休講にします。

- ①気象警報発令の時

「特別警報」又は「暴風警報」が京都府南部（京都市）に対して発令された場合、京都キャンパスの授業を休講とします。

警報が授業開始後に発令されたときは、原則としてその講時の授業は平常通り実施し、次の講時以後は休講とします。ただし、状況により、警報発令と同時に授業を中断し、以後を休講とすることもあります。

警報が解除された場合の扱いは以下のとおりです。

1. 警報が午前 6 時までに解除されたとき	平常通り授業を行う
2. 警報が午前 10 時までに解除されたとき	Ⅲ 講時より授業を行う
3. 警報が午前 10 時を過ぎても解除されないとき	終日休講

注) 警報の解除の確認は、気象庁の発表によるものとします。

## ②交通機関の運休のとき

京都市営バス・地下鉄が運休しているとき、または、JR（神戸～米原）・阪急電鉄（河原町～梅田）が全面的に運休している場合は京都キャンパスの授業を休講とします。

運行が再開された場合の取り扱いは以下のとおりです。

1. 運行が午前 6 時までに再開されたとき	平常通り授業を行う
2. 運行が午前 10 時までに再開されたとき	Ⅲ 講時より授業を行う
3. 運行が午前 10 時を過ぎても再開されないとき	終日休講

京都市営バス・地下鉄・JR・阪急電鉄以外の交通機関が運休の場合には、原則として平常通り授業を行います。そのため授業に出席できなかった場合は、願出により公欠を認めることがあります。

注) 運行状況の確認は、各交通機関の公式サイトの情報によるものとします。

## 【高槻キャンパス】

次の①または②の場合、授業を休講にします。

### ①気象警報発令の時

「特別警報」又は「暴風警報」が大阪府（高槻市）に対して発令された場合、高槻キャンパスの授業を休講とします。

警報が授業開始後に発令されたときは、原則としてその講時の授業は平常通り実施し、次の講時以後は休講とします。ただし、状況により、警報発令と同時に授業を中断し、以後を休講とすることもあります。

警報が解除された場合の扱いは以下のとおりです。

1. 警報が午前 6 時までに解除されたとき	平常通り授業を行う
2. 警報が午前 10 時までに解除されたとき	Ⅲ 講時より授業を行う
3. 警報が午前 10 時を過ぎても解除されないとき	終日休講

注) 警報の解除の確認は、気象庁の発表によるものとします。

### ②交通機関の運休のとき

高槻市バスが運休、または、JR（京都～大阪）・阪急電鉄（河原町～梅田）が全面的に運休している場合は高槻キャンパスの授業を休講とします。



運行が再開された場合の取り扱いは以下のとおりです。

1. 運行が午前 6 時までに再開されたとき	平常通り授業を行う
2. 運行が午前 10 時までに再開されたとき	Ⅲ 講時より授業を行う
3. 運行が午前 10 時を過ぎても再開されないとき	終日休講

高槻市バス・JR・阪急電鉄以外の交通機関の運休の場合には、原則として平常通り授業を行います。そのために授業に出席できなかった場合は、願出により公欠を認めることがあります。

注) 運行状況の確認は、各交通機関の公式サイトの情報によるものとします。

## 6) 補 講

補講とは、授業担当者が予定した授業計画を完了しない場合や、休講により授業回数が不足する場合に、それを補うために行う授業です。実施する場合には、掲示またはメールにて連絡しますので、日時・教室等をよく確かめてください。

## 7) 補充授業

補充授業とは、「公欠願」が提出された場合に、その授業内容を補うために行う授業です。実施する場合には、掲示またはメールにて連絡しますので、日時・教室等をよく確かめてください。

## 8) 集中講義

科目によっては、特定の曜日・講時にとらわれず、ある一定期間内に集中して行う講義があります。期間・教室等は時間割表および掲示によって確認してください。

## 9) 学外実習

主に学外で授業が行われる科目があります。通常的时间割とは違う授業日程となりますので、受講にあたっては各学科ガイダンス、掲示等の案内に注意してください。

## 10) 不開講、時間割・教室変更

登録の結果、登録人数が極端に少ない科目は開講しないことがあります。また、登録人数によっては、開講時間や教室を変更する場合があります。この場合は、教務の掲示板でお知らせします。

## 11) 出 欠

- (1) 規定の授業回数の 3 分の 1 以上を欠席した場合には、原則として当該科目を失格とします。
- (2) 30 分以上の遅刻・早退は欠席とします。30 分未満の遅刻・早退は 3 回で 1 回の欠席とします。  
また、遅刻・早退を同講時中にした場合は欠席とします。

## 12) 出欠確認

本学では、すべての授業において毎時間出欠を確認しています。出欠確認には、点呼によるもの、出席カードによるもの等があります。出欠確認は、第1回目の授業から行います。出欠確認には、公正な態度で臨み、特に次の点に注意してください。

- ① 履修が確定した科目は、必ず受講してください。
- ② 出席点呼は、毎時間、授業開始時に実施します。点呼以後の出席は、「遅刻」となります。
- ③ 早退する場合は、あらかじめ授業担当者の許可を得てください。

## 13) 受講マナーについて（マナー憲章）

### (1) 充実した学習・研究活動の遂行

大学での学業を通して知性、能力と人格を磨き、社会に貢献できる人間となるために、互いに次のマナーを守って学習・研究活動に専念できる時間と環境を確保する。

- ① 学習にのぞんでは、学ぶ者として常に謙虚でかつ積極的な態度を保ち、真剣で礼儀正しい行動をとって、自己の完成を目指す。
- ② 始業の合図とともに、自席につき落ち着いた気持ちで受講の準備をする。
- ③ 授業中、私語は禁止する。
- ④ 授業中、携帯電話の使用を禁止する。
- ⑤ 授業中、飲食は禁止する。ただし、健康上の理由がある場合は、授業開始前に担当教員にペットボトルの水、またはお茶の飲用許可を申し出ることができる。
- ⑥ 万一、電車などの延着で授業に遅刻して入室しなければならなくなったときには、必ず担当教員にその旨を報告して、許可を得て着席する。
- ⑦ 授業中に無断で退出することは禁止する。
- ⑧ 授業の開始と終了の際には、起立して敬意あるあいさつを交わす。

### (2) 教室内の学習環境の確保の徹底

快適な学習環境を保つために、良識ある行動を心がける。

- ① 教室では、消し忘れの板書を消し、清潔な教室を常に心がける。
- ② 授業終了後、不要な照明や冷暖房は、スイッチを切って退出する。
- ③ 授業のない教室で飲食する場合には、ゴミは室外の所定の場所に分別して捨てる。
- ④ 机・椅子を移動した場合には元の状態に戻す。

### (3) 大学の行事等の出席の徹底

オリエンテーションや各セメスターのガイダンス等は全員の出席を原則としている。

また、大学祭や各クラスの行事などの出席を積極的に推奨している。これらの日程をよく確認して、正しい判断で行動するようにする。

もし、体調不良等やむを得ず出席できない場合には、必ず事前に担任に連絡をして、承諾を得る。

※ (4)以下は学生手帳を参照してください。

## 5. 試 験

ほとんどの科目は学期末に試験を実施します。その他に試験には、追試験、再試験（4年次のみ）があります。また、授業時間内に随時試験を実施する場合があります。

### 1) 試験の形態

試験には、教室での筆記試験の他に、レポート試験や実技、制作物等の提出によって行うものがあります。

### 2) 定期試験

#### (1) 受験資格

履修登録をしたすべての科目について、試験を受ける資格があります。

#### (2) 定期試験を欠席した場合

病気またはやむを得ない事情で、所定の日時に試験を受けられない場合は、追試験を受験できる可能性があります。詳細は、「3) 追試験」で確認してください。

### 3) 追試験

追試験とは、定期試験に際して、病気その他やむを得ない事由により受験できなかった学生に対し、当該科目についてのみ実施する試験をいいます。

#### (1) 追試験の受験資格等

定期試験の欠席理由	添付書類
学外実習（教育実習など）への参加	—
居住地域または通学途中の地域に特別警報 又は暴風警報が発令された場合	—
忌 引 き	忌引きについて・ 会葬礼状等
病 気	診断書・登校許可書等
交通事故・交通機関の事故	事故証明 延着運休証明書
就職試験の受験	学生部長の証明書
編入学試験の受験	教学部長の証明書
定期試験欠席がやむを得ないと教学部長が 判断した場合	—

## (2) 追試験の受験手続

- ① 追試験を希望する学生は当該試験の翌日（土日祝に当たる場合はその翌日）までに教務窓口へ連絡し、当該試験後5日以内（5日目が土日祝に当たる場合はその翌日）に、所定の「追試験受験願」に、診断書や事故証明等、事由を裏付ける第三者の証明書を添付して教務窓口へ提出してください。
- ② やむを得ない事情により、「追試験受験願」を手続期間に提出できない場合は、その旨を手続期間内に教務窓口まで連絡してください。連絡がなく手続しなかった場合、追試験を受験できませんので注意してください。

## (3) 追試験の成績

追試験の成績は、100点満点で評価します。

## (4) 追試験を欠席した場合

追試験を欠席した場合、再度の追試は行いません。ただし、追試験を受験できない事情（本人に係わる不可抗力の理由）が発生した場合は、事前または当日に教務窓口へ連絡してください。

## 4) 再試験（4年次のみ対象）

再試験とは、定期試験または追試験の結果、不合格となった科目についてのみ実施される試験です。指定日に成績を確認し、不合格となった科目については再試験の受験手続ができます。

### (1) 再試験の受験資格

4年次に在学し試験等を受けた結果不合格となった学生に受験資格があります。

### (2) 再試験で受験できる科目数

再試験で受験できる科目数は、**3科目以内**です。

### (3) 再試験の受験手続

- ① 再試験の受験資格がある場合、再試験の手続期間内に「再試験受験願」を教務窓口へ提出してください。
- ② 再試験を受験する場合は、所定の再試験受験料を納付する必要があります。**1科目につき1,000円**ですので、受験料に相当する額の証紙を購入し、教務窓口で手続きを行ってください。
- ③ やむを得ない事情により、「再試験受験願」を手続期間に提出できない場合は、その旨を手続期間内に教務窓口まで連絡してください。連絡がなく手続きをしなかった場合、再試験を受験できませんので注意してください。
- ④ 再試験の手続きは、レポートおよび課題提出の場合も必要です。

### (4) 再試験の成績

再試験の成績は、60点を最高とします。

## (5) 再試験を欠席した場合

再試験を欠席した場合は、**当該科目は失格**となります。ただし、再試験を受験できない事情（本人に係わる不可抗力の理由）が発生した場合は、事前または当日に教務窓口にご連絡してください。

## 5) 筆記試験について

### (1) 試験時間

定期試験および追試験、再試験は原則として 60 分間で行われます。

### (2) 受験上の注意

受験に際しては、次の事項に十分注意してください。

① 受験に際しては、あらかじめ当該授業科目で定められた方法を守ってください。

② 試験場では、試験監督者の指示にしたがってください。

③ 指定された教室で受験してください。

④ 学生証は机上に写真を表にして置き、監督者の確認を受けてください。

学生証を忘れた場合は、当日、教務窓口で「受験許可書」を発行してもらってください。ただし、「受験許可書」の有効期間は発行日のみです。「受験許可書」は試験後、当日中に教務窓口まで返却してください。

⑤ 携帯品は筆記用具および持込可能なものに限り、それ以外の受験に不要な所持品は身近に置かないようにしてください。

⑥ 試験において不正を行った場合、当該科目は失格となります。再試験の受験も認められません。

⑦ 携帯電話等は電源を切って、カバンの中に保管してください。なお、時計機能として使用することもできません。

⑧ 試験場内では私語はしないでください。また、筆記用具の貸し借りもしないでください。

⑨ コート着用ときは、ボタンをかけてください。

⑩ 遅刻した場合、20 分以内に限り試験場への入室を認めます。試験開始後 20 分を経過すると、いかなる理由があっても試験場への入室は認められません。

⑪ 試験開始後 30 分以内の退室は認められません。

## 6) レポート試験・制作物等について

レポート試験には、担当者に直接提出する場合と、教務窓口へ提出する場合があります。制作物は直接担当者に提出します。

レポート試験の題目および提出日時等については、授業担当者の指示に従ってください。なお、レポート提出の際には、次の事項に十分注意してください。

① 期限に遅れた場合、一切受け付けません。提出期限・時間は厳守してください。

② やむを得ない事情により提出できない場合は、事前に授業担当教員・教務窓口にご連絡してください。ただし、理由により認められない場合があります。

- ③ 教務窓口へ提出するレポートには、所定のレポート表紙を添付してください。  
レポート表紙は大学ホームページよりダウンロードをして利用することができます。
- ④ レポート表紙には、必ずペンまたはボールペンで記入してください。
- ⑤ レポートは、ホッチキス等で綴じてください。
- ⑥ 教務窓口へ提出する場合、レポート提出後、受領印を受けて受領書を受け取ってください。  
また、受領書は、成績を確認するまで大切に保管してください。

## 7) 実技試験について

担当者の指示に従ってください。

## 8) 試験の休講等の取り扱い

特別警報又は暴風警報の発令や交通機関の運休停止により、試験が予定されている講時やレポートの締切日時に通学できない場合の取り扱いは、掲示またはメール配信にて指示しますので注意してください。

## 6. 成績と単位認定

定められた授業期間の講義、演習、実習などに出席し、試験を受けたり、レポートなどを提出したりすることによって、学期または学年の終わりに規定された評価が与えられます。

### 1) 成績の評価基準

成績評価は100点満点とします。60点以上を合格とし、その科目の単位を認めます。

	合 格				不 合 格	失 格	認 定
グレード・ポイント	4	3	2	1	0	0	-
評 点	100～90	89～80	79～70	69～60	59～0	-	-
評 価	A+	A	B	C	D	S	N

※不合格：成績評価が60点未満

※失格：授業欠席回数が3分の1以上など成績評価の対象とならない場合

※認定：単位互換科目以外の本学での履修によらない授業科目の単位認定の場合

※成績証明書には不合格および失格科目は記載されません。

※一度合格した科目の評価を取り消すことはできません。

### 2) GPA (Grade Point Average) について

本学では授業科目ごとの成績評価それぞれに対して、4・3・2・1・0のグレード・ポイントを付与し、この単位あたりの平均を出して、その一定水準を学修指導等に活用するため GPA 制度を導入しています。

これは、学修の質を評価する成績評価の国際標準となっており、合格した科目だけでなく、不合格や失格科目も GPA 算出対象となります。

※ GPA は「UNIPA」の成績照会画面で確認できます。

※不合格科目を再履修した場合、累積 GPA も、学期ごとの GPA も再履修前と再履修後の成績がそれぞれ算入されます。

※学期末試験で合格とならず、再試験を受験した科目は、再試験の評価で GPA を算出します。

※ GPA は以下の式により算出されます。

$$\text{GPA} = \frac{\text{履修登録科目のグレード・ポイント} \times \text{単位数の総和}}{\text{履修登録した科目の単位数の総和}}$$

- ・履修登録した科目には、不合格や失格の科目を含む。
- ・認定科目は含まない。

### 3) 成績通知

成績は、学期ごとに「UNIPA」で確認してください。通年科目については、秋学期末に確認してください。なお、成績は学期ごとに保証人に通知します。

### 4) 成績評価の異議申立

各学期の成績評価について異議がある場合は、教務チームに問合せをすることができます。試験結果確認日から**3日以内**（土・日・祝日は除く）に、「成績評価に関する質問票」を教務窓口へ提出してください。質問票は大学ホームページよりダウンロードをして利用することができます。

### 5) 学部学科間履修

学部学科間履修科目として修得した単位は、教養科目10単位、専門科目10単位をそれぞれ上限に卒業要件単位として認定します。

### 6) 単位の認定

- (1) 授業科目を履修し、その試験に合格した者（学則第18条）
- (2) 他大学等における授業科目の履修による単位認定（学則第19条）
  - ・平安女学院大学短期大学部との単位互換
  - ・大学コンソーシアム京都の単位互換
  - ・外国の協定校との単位互換これらの単位互換による成績は、本学の定める成績評価基準に基づき、認定します。
- (3) 大学以外の教育施設等における学修の単位認定（学則第20条）
- (4) 入学前の既修得単位の認定（学則第21条）
- (5) (3) (4)の事項の単位認定を受けようとする学生は単位認定願に次の書類を添えて履修登録期間中（確認・修正期間は除く）に教務窓口へ申し出てください。
  - ① 成績証明書または単位修得証明書（修了証書の場合は学修時間数の明記が必要）
  - ② (3) の場合は教育機関の概要
  - ③ 申請する授業科目について、出身大学等が作成した科目の内容ならびに単位の換算・認定に必要な書類
- (6) 編入学・転入学等の場合を除き、(2) (3) (4) による単位認定はあわせて60単位を超えない範囲で卒業要件単位とします。
- (7) 授業料未納者については単位認定を保留します。



## 7. 免許・資格の取得

### 1) 国際観光学部 国際観光学科

#### 取得できる資格

国際観光学部の学生は、所定の科目を履修することで、学内検定資格を取得することが出来ます。  
履修ガイダンス時に別途資料を配布のうえ、資格の内容・取得方法について詳細を説明します。

### 2) 子ども教育学部 子ども教育学科

#### 取得できる免許・資格

子ども教育学部にはコースが設定されており、取得できる免許資格は、コースによって異なります。コース分けは2年次の春学期に行います。それぞれのコースには条件があり、1年次末（3月）までに条件を満たしておく必要があります。

コース名	取得できる免許資格	条 件
乳幼児保育コース	(1) 幼稚園教諭一種免許状 (2) 保育士資格 (3) 小学校教諭一種免許状*	漢検3級程度
子ども教育コース	(1) 幼稚園教諭一種免許状 (2) 小学校教諭一種免許状 (3) 保育士資格*	漢検3級程度、英検3級程度
子ども教育コース (英語教育専修)	(1) 小学校教諭一種免許状 (2) 中学校教諭一種免許状（英語） (3) 幼稚園教諭一種免許状*	漢検3級程度、英検準2級程度

(注) それぞれのコースで※印は従たる免許資格（3つ目の免許資格）として取得することが可能です。  
3つ目の免許資格を取得したい場合は、2年次以降の年度開始時に GPA が2.1 以上必要です。  
同時に4つの免許資格を4年間で取得するのは困難です。  
英検3級、準2級程度とは、他の英語検定で同程度の内容の成績を取めていることを示します。

#### (1) 幼稚園教諭一種免許状

1. 教育職員免許法に定める幼稚園教諭一種免許状取得のために必要な要件は下記のとおりです。

##### ① 基礎資格（学位）

学士の学位

##### ② 大学において修得することを必要とする最低単位数

	幼稚園教諭一種
66条の6に定める科目	8
教科及び教職に関する科目	51

2. 本学における教職課程および開設科目は下記のとおりです。

① 66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			
科目	単位数	授 業 科 目	単位数		備 考
			必修	選択	
日本国憲法	2	●日本国憲法		2	1
体 育	2	●体育理論 ●体育実技		1	1
				1	1
外国語コミュニケーション	2	●英語Ⅰ ●英語Ⅱ	1		1
			1		1
情報機器の操作	2	●情報技術Ⅰ	2		1

●印は教職課程必修科目です。

② 教科及び教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目				
科目	各科目に含めることが必要な事項		単位数	授 業 科 目	単位数		備 考
					必修	選択	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	・領域に関する専門的事項	健康	16	●健康 ●人間関係 ●環境 ●言葉 ●表現		2	1
		人間関係				2	1
	環境			2	1		
	言葉		2	1			
	表現		2	1			
	・保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）			●保育内容総論 ●保育内容（健康） ●保育内容（人間関係） ●保育内容（環境） ●保育内容（言葉） ●保育内容（造形表現） ●保育内容（表現活動）	2		1
			2		2		
			2		2		
			2		2		
			2		2		
			2		2		
	領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						本学では開設していない

●印は教職課程必修科目です。

② 教科及び教職に関する科目

免許法施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目				
科 目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数		配当 年次	備 考
				必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	●教育原理	2		1	
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		●教職論（幼・保）		2	1	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		●比較教育制度論	2		3	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		●発達心理学	2		1	
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		●特別支援教育論	1		2	
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		●教育課程論	2		2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	幼児教育方法論 教育方法論		2 2	2 2	いずれか選択必修
	・幼児理解の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		●幼児理解 ●教育相談		1 2	3 2	
教育実践に関する科目	・教育実習	5	教育実習 a 教育実習指導 a 教育実習 b 教育実習指導 b		4 1 4 1	3 3 3 3	「a」「b」いずれか選択
	・教職実践演習	2	●教職実践演習（幼・小・中）	2		4	
大学が独自に設定する科目		14	教育ボランティアワーク 体験実習 a I 体験実習 a II		1 1 1	4 1 2	最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」の単位は、大学が独自に設定する科目の単位として計算する。

●印は教職課程必修科目です。

## (2) 小学校教諭一種免許状

1. 教育職員免許法に定める小学校教諭一種免許状取得のために必要な要件は下記のとおりです。

① 基礎資格（学位）

学士の学位

② 大学において修得することを必要とする最低単位数

	小学校教諭一種
66条の6に定める科目	8
教科及び教職に関する科目	59

③ 介護等体験

2. 本学における教職課程および開設科目は下記のとおりです。

① 66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目				
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数		配当 年次	備 考
			必修	選択		
日本国憲法	2	●日本国憲法		2	1	
体 育	2	●体育理論		1	1	
		●体育実技		1	1	
外国語コミュニケーション	2	●英語Ⅰ	1		1	
		●英語Ⅱ	1		1	
情報機器の操作	2	●情報技術Ⅰ	2		1	

●印は教職課程必修科目です。

② 教科及び教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目					
科目	各科目に含めることが必要な事項		単位数	授 業 科 目	単位数		配当 年次	備 考
					必修	選択		
教科及び 教科の指 導法に関 する科目	・教科に関する 専門的事項	国語	30	教科国語		2	1	10 単位 選択必修
		社会		教科社会		2	1	
		算数		教科算数		2	1	
理科		教科理科			2	1		
生活		教科生活			2	1		
音楽		教科音楽			2	1		
図画工作		教科図画工作			2	1		
家庭		教科家庭			2	1		
体育		教科体育			2	1		
英語		教科英語			2	1		
・各教科の指導法（情報機器 及び教材の活用を含む。）	●国語科教育法Ⅰ		2	2				
	国語科教育法Ⅱ		2	3				
	●社会科教育法Ⅰ		2	2				
	社会科教育法Ⅱ		2	3				
	●算数科教育法Ⅰ		2	2				
	算数科教育法Ⅱ		2	3				
	●理科教育法Ⅰ		2	2				
	理科教育法Ⅱ		2	3				
	●生活科教育法		2	2				
	●音楽科教育法		2	2				
●図画工作科教育法		2	2					
●家庭科教育法		2	2					
●体育科教育法		2	2					
●英語科教育法		2	2					
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目							本学では開設 していない	

●印は教職課程必修科目です。

② 教科及び教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目					
			授 業 科 目	単位数		配当 年次	備 考	
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数		必修	選択			
教育の基礎的理解に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想</li> <li>・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)</li> <li>・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)</li> <li>・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程</li> <li>・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解</li> <li>・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)</li> </ul>	10	●教育原理	2		1		
			●教職論(小・中)			2	1	
			●比較教育制度論	2			3	
			●発達心理学	2			1	
			●特別支援教育論	1			2	
			●教育課程論	2			2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の理論及び指導法</li> <li>・総合的な学習の時間の指導法</li> <li>・特別活動の指導法</li> <li>・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)</li> <li>・生徒指導の理論及び方法</li> <li>・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法</li> <li>・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)</li> <li>の理論及び方法</li> </ul>	10	●道徳教育論			2	3	
			●総合的な学習の時間の指導法			2	3	
			●特別活動の指導法			2	3	
			●教育方法論			2	2	
			●生徒指導・進路指導論			2	3	
			●教育相談			2	2	
教育実践に関する科目	・教育実習	5	教育実習 a 教育実習指導 a 教育実習 b 教育実習指導 b	4 1 4 1		3 3 3 3	「a」「b」いずれか選択	
	・教職実践演習	2	●教職実践演習(幼・小・中)	2		4		
大学が独自に設定する科目		2	教育ボランティアワーク			1	4	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」の単位は、大学が独自に設定する科目の単位として計算する。
			体験実習 a I			1	1	
			体験実習 a II			1	2	
			児童英語教育論			2	3	
			英語教材研究			2	3	

●印は教職課程必修科目です。

3. 介護等体験について

小学校教諭免許状取得のためには、社会福祉施設および特別支援学校での介護等体験が必要です。  
これについての詳細は別に説明します。

(3) 中学校教諭一種免許状（英語）

1. 教育職員免許法に定める中学校教諭一種免許状（英語）取得のために必要な要件は下記の通りです。

① 基礎資格（学位）

学士の学位

② 大学において修得することを必要とする最低単位数

中学校教諭一種（英語）	
66条の6に定める科目	8
教科及び教職に関する科目	59

③ 介護等体験

2. 本学における教職課程および開設科目は下記の通りです。

① 66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める 科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目				
		授 業 科 目	単 位 数		配 当 年 次	備 考
科 目	単 位 数		必 修	選 択		
日本国憲法	2	●日本国憲法		2	1	
体 育	2	●体育理論 ●体育実技		1 1	1 1	
外国語コミュニケーション	2	●英語Ⅰ ●英語Ⅱ	1 1		1 1	
情報機器の操作	2	●情報技術Ⅰ	2		1	

●印は教職課程必修科目です。

② 教科及び教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目				
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数		配当 年次	備 考
				必修	選択		
教科及び 教科の指 導法に関 する科目	・教科に関 する専門 的事項	英語学	●英語学Ⅰ		2	2	
			●英語学Ⅱ		2	3	
		英語文学	●英語文学Ⅰ		2	2	国際観光学科科目
			●英語文学Ⅱ Children's Literature		2	3	国際観光学科科目
	英語コミュ ニケーシ ョン	●初級英語コミュニケーションⅠ		1	2		
		●初級英語コミュニケーションⅡ		1	2		
		●中級英語コミュニケーションⅠ		1	3		
		●中級英語コミュニケーションⅡ		1	3		
		●上級英語コミュニケーションⅠ		1	4		
		●上級英語コミュニケーションⅡ 英語プレゼンテーション		1	4		
異文化 理解	●異文化理解		2	3			
	多文化共生論		2	3			
	海外の子どもと教育Ⅰ		2	2			
	海外の子どもと教育Ⅱ Children's Life in English		2	2			
・各教科の指導法（情 報機器及び教材の活 用を含む。）	●中学校英語指導法Ⅰ		2	2			
	●中学校英語指導法Ⅱ		2	3			
	●中学校英語指導法Ⅲ		2	3			
	●中学校英語指導法Ⅳ		2	4			
教科及び教科の指導法 に関する科目における 複数の事項を合わせた 内容に係る科目							本学では開設 していない

●印は教職課程必修科目です。

下線付きの科目は、一般的包括的内容を含む科目です。



② 教科及び教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目					
			授 業 科 目	単位数		配当 年次	備 考	
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数		必修	選択			
教育の基礎的理解に関する科目	10	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	●教育原理	2		1		
		・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	●教職論(小・中)		2	1		
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	●比較教育制度論	2		3		
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	●発達心理学	2		1		
		・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	●特別支援教育論	1		2		
		・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	●教育課程論	2		2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	・道徳の理論及び指導法	●道徳教育論		2	3		
		・総合的な学習の時間の指導法	●総合的な学習の時間の指導法		2	3		
		・特別活動の指導法	●特別活動の指導法		2	3		
		・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	●教育方法論		2	2		
		・生徒指導の理論及び方法	●生徒指導・進路指導論		2	3		
		・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	●教育相談		2	2		
教育実践に関する科目	5	・教育実習	●教育実習 c		4	3		
		・教職実践演習	●教育実習指導 c		1	3		
大学が独自に設定する科目	4		●教職実践演習(幼・小・中)	2		4		
			教育ボランティアワーク			1	4	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」の単位は、大学が独自に設定する科目の単位として計算する。
			体験実習 a I			1	1	
体験実習 a II			1	2				

●印は教職課程必修科目です。

### 3. 介護等体験について

中学校教諭一種免許状（英語）取得のためには、社会福祉施設および特別支援学校での介護等体験が必要です。これについての詳細は別に説明します。

### (3) 保育士資格

#### ① 厚生労働省 教養科目

規定科目			左記に対応する本学開設授業科目			
	教 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	配当 年次	備 考
教養科目	外国語、体育以外の科目	6 以上	キリスト教学	2	1	
			キリスト教文化	1	1	
			日本語表現法	2	1	
			情報技術 I	2	1	
			日本国憲法	2	1	
	外国語	2 以上	英語 I	1	1	
			英語 II	1	1	
体育	講 義	1	体育理論	1	1	
	実 技	1	体育実技	1	1	

② 厚生労働省 必修科目（教養科目以外の系列）

別表による教科目及び単位数			左記に対応する本学開設授業科目			
教科目		単位数	授業科目	単位数	配当年次	備考
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2	保育原理	2	1	
	教育原理	2	教育原理	2	1	
	子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉	2	2	
	社会福祉	2	社会福祉原論Ⅰ	2	1	
	子ども家庭支援論	2	子ども家庭支援論	2	3	
	社会的養護Ⅰ	2	社会的養護Ⅰ	2	2	
保育の対象の理解に関する科目	保育者論	2	教職論（幼・保）	2	1	
	保育の心理学	2	発達心理学	2	1	
	子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2	2	
	子どもの理解と援助	1	幼児理解	1	3	
	子どもの保健	2	子どもの保健	2	1	
保育の内容・方法に関する科目	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	2	2	
	保育の計画と評価	2	保育の計画と評価	2	3	
	保育内容総論	1	保育内容総論	2	1	
	保育内容演習	5	保育内容（健康）	2	2	
			保育内容（人間関係）	2	2	
			保育内容（環境）	2	2	
			保育内容（言葉）	2	2	
			保育内容（造形表現）	2	2	
	保育内容の理解と方法	4	保育の表現技術Ⅰ	2	3	
			保育の表現技術Ⅱ	2	3	
	乳児保育Ⅰ	2	乳児保育Ⅰ	2	1	
	乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	1	3	
	子どもの健康と安全	1	子どもの健康と安全	1	2	
障害児保育	2	障害児教育	2	2		
社会的養護Ⅱ	1	社会的養護Ⅱ	1	2		
子育て支援	1	子育て支援	1	3		
保育実習	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ a	2	2	
			保育実習Ⅰ b	2	2	
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導Ⅰ a	1	2	
			保育実習指導Ⅰ b	1	2	
総合演習	保育実践演習	2	教職実践演習（幼・小・中）	2	4	
合計		51				

③ 厚生労働省 選択必修科目

別表による教科目及び単位数		左記に対応する本学開設授業科目			
教科目	単位数	授業科目	単位数	配当年次	備考
保育の本質・目的に関する科目	6以上	社会福祉原論Ⅱ	2	3	
		地域福祉論	2	3	
		障害者福祉論	2	3	
保育の対象の理解に関する科目		カウンセリング理論	2	3	
		家族心理学	2	3	
		子どもの心と教育	2	3	
		子どものメディア論	2	3	
		子どもの生活空間	2	3	
保育の内容・方法に関する科目		子どもの食育論	2	3	
		子どもの遊び	2	3	
	器楽Ⅰ	1	2		
	器楽Ⅱ	1	2		
	器楽Ⅲ	1	3		
	器楽Ⅳ	1	3		
保育実習	保育実習Ⅱ	幼児と音楽	1	2	
		保育実習Ⅱ	2	3	
		保育実習指導Ⅱ	1	3	



## 8. カリキュラム

**国際観光学部 国際観光学科 カリキュラム表**  
教養科目

授 業 科 目		単位数		週時間	形態	配当 年次	備 考
		必修	選択				
教 養 科 目	基 礎 科 目 A	キリスト教学	2		2	講義	1
		キリスト教文化		1	2	演習	1
		ジェネリックススキルⅠ	1		2	演習	1
		ジェネリックススキルⅡ	1		2	演習	1
		ジェネリックススキルⅢ	1		2	演習	2
		ジェネリックススキルⅣ	1		2	演習	2
		ジェネリックススキルⅤ	1		2	演習	3
		ジェネリックススキルⅥ	1		2	演習	3
	ジェネリックススキルⅦ	1		2	演習	4	
	ジェネリックススキルⅧ	1		2	演習	4	
	基 礎 科 目 B	日本語表現法Ⅰ		1	2	演習	1
		日本語表現法Ⅱ		1	2	演習	1
		日本語表現法Ⅲ		1	2	演習	2
		日本語表現法Ⅳ		1	2	演習	2
		英語Ⅰ		1	2	演習	1
		英語Ⅱ		1	2	演習	2
		イタリア語Ⅰ		1	2	演習	1
		イタリア語Ⅱ		1	2	演習	1
		フランス語Ⅰ		1	2	演習	1
		フランス語Ⅱ		1	2	演習	1
		日本語Ⅰ		1	2	演習	1
		日本語Ⅱ		1	2	演習	1
		日本語Ⅲ		1	2	演習	2
	日本語Ⅳ		1	2	演習	2	
	日本語講読		1	2	演習	3	
	日本語聴解		1	2	演習	3	
	教 養 展 開 科 目 A	女性のキャリア形成		2	2	講義	1
		ホスピタリティマナー演習		1	2	演習	1
		秘書トレーニング		1	2	演習	1
		情報技術入門		1	2	演習	1
		インフォメーションデザイン演習Ⅰ		1	2	演習	2
		インフォメーションデザイン演習Ⅱ		1	2	演習	2
		リーダーシップ・トレーニング		1	2	演習	2
ディスカッションの基礎			1	2	演習	3	
ディスカッションの展開			1	2	演習	3	
数的処理演習		1	2	演習	3		
教 養 展 開 科 目 B	文化人類学		2	2	講義	1	
	民俗学		2	2	講義	1	
	地理学		2	2	講義	1	
	芸術と人間		2	2	講義	1	
	現代日本文化論		2	2	講義	1	
	現代社会論		2	2	講義	1	
	女性学		2	2	講義	1	
	心理学		2	2	講義	1	
	生命と環境		2	2	講義	1	
	マンガとアニメーション		2	2	講義	1	
	現代の教養		2	2	講義	1	

10 単位以上

4 単位以上

留学生科目

4 単位以上

6 単位以上

国際観光学部 国際観光学科 専門科目

授 業 科 目		単位数		週時間	形態	配当 年次	備 考	
		必修	選択					
専 門 導 入 科 目	国際観光学入門	コミュニケーション論	2	2	講義	1	10 単位以上	
		観光概論	2	2	講義	1		
		国際観光論	2	2	講義	1		
		ホスピタリティ社会論	2	2	講義	1		
	中国語入門	中国語発音入門		1	2	演習		1
		中国語会話入門		1	2	演習		1
	大学の英語入門	Oral English		1	2	演習		1
		College English I		1	2	演習		1
		College English II		1	2	演習		1
		College English III		1	2	演習		1
専 門 科 目	観光ホスピタリティ・ ビジネスの基礎	現代経営論	2	2	講義	1	16 単位以上	
		国際儀礼研究	2	2	講義	1		
		ホスピタリティ産業論	2	2	講義	1		
		ブライダル入門演習	1	2	演習	1		
		リスク・マネジメント	2	2	講義	2		
		観光経済論	2	2	講義	2		
		交通事業論	2	2	講義	2		
		観光まちづくり論	2	2	講義	2		
		観光政策論	2	2	講義	2		
		観光文化学の諸相	多文化共生論	2	2	講義		1
	世界遺産研究		2	2	講義	1		
	観光景観論		2	2	講義	1		
	旅行の歴史		2	2	講義	1		
	地域環境資源と観光		2	2	講義	1		
	観光地誌		2	2	講義	2		
	歴史遺産と観光資源		2	2	講義	2		
	日本の建築と庭園		2	2	講義	2		
	観光文化論		2	2	講義	2		
	観光人類学		2	2	講義	2		
	観光学の方法を学ぶ	フィールドワークの方法	2	2	講義	2		
観光調査法		2	2	講義	2			
観光表現演習		1	2	演習	2			
中国語の基礎を固める	総合中国語会話 I	1	2	演習	1			
	総合中国語会話 II	1	2	演習	2			
	総合中国語読解 I	1	2	演習	1			
	総合中国語読解 II	1	2	演習	2			
	中級中国語作文 I	2	2	演習	2			
	中級中国語会話 I	2	2	演習	2			
	中級中国語聴解 I	2	2	演習	2			
	中級中国語読解 I	2	2	演習	2			
英語の基礎を固める	中国語検定演習	1	2	演習	2			
	English Writing Skills I	1	2	演習	1			
	English Writing Skills II	1	2	演習	2			
	English Listening Skills I	1	2	演習	1			
	English Listening Skills II	1	2	演習	2			
	English Speaking Skills I	1	2	演習	1			
	English Speaking Skills II	1	2	演習	2			
	Studying Abroad Preparation I	1	2	演習	1			
	Studying Abroad Preparation II	1	2	演習	2			
	Writing in Progress I	2	2	演習	2			
	Speaking in Progress I	2	2	演習	2			
	Listening in Progress I	2	2	演習	2			
	Reading in Progress I	2	2	演習	2			
	観光英語	1	2	演習	2			
Academic Writing	1	2	演習	2				
TOEIC 演習 I	1	2	演習	1				
TOEIC 演習 II	1	2	演習	2				
英語文学 I	2	2	講義	2				

授 業 科 目		単位数		週時間	形態	配当 年次	備 考
		必修	選択				
専 門 展 開 科 目	観光ホスピタリティ・ ビジネスの探究	ブライダルサービス論	2	2	講義	2	14 単位以上
		ホテルサービス論	2	2	講義	2	
		テーマパーク論	2	2	講義	2	
		旅行産業論	2	2	講義	3	
		サービス・マーケティング	2	2	講義	3	
		環境マネジメント論	2	2	講義	3	
		エアラインサービス論	2	2	講義	2	
		エアラインビジネス論	2	2	講義	3	
		宿泊施設論	2	2	講義	3	
		カラーコーディネート	2	2	講義	3	
		国内旅行業務（業法・約款・実務）	2	2	講義	2	
		国内旅行業務（地誌）	2	2	講義	2	
		総合旅行業務（海外旅行実務）	2	2	講義	3	
		総合旅行業務（地誌）	2	2	講義	3	
	世界諸地域の研究	地域研究（ヨーロッパ）	2	2	講義	2	
		地域研究（アメリカ）	2	2	講義	2	
		地域研究（環太平洋）	2	2	講義	2	
		地域研究（中国・台湾）	2	2	講義	2	
		地域研究（アジア・アフリカ）	2	2	講義	2	
	観光光学の新動向	観光光学の理論と歴史	2	2	講義	3	
		国際観光開発論	2	2	講義	3	
		エコツーリズム論	2	2	講義	3	
		アーバン・ツーリズム論	2	2	講義	3	
		建築・産業遺産研究	2	2	講義	3	
	教育旅行研究	2	2	講義	3		
	中国語力を伸ばす	総合中国語会話Ⅲ	1	2	演習	2	
		総合中国語会話Ⅳ	1	2	演習	3	
		総合中国語読解Ⅲ	1	2	演習	2	
		総合中国語読解Ⅳ	1	2	演習	3	
		中級中国語作文Ⅱ	2	2	演習	3	
		中級中国語会話Ⅱ	2	2	演習	3	
		中級中国語聴解Ⅱ	2	2	演習	3	
		中級中国語読解Ⅱ	2	2	演習	3	
		観光中国語	1	2	演習	3	
		中国語実務通訳	1	2	演習	3	
		中国語観光通訳	1	2	演習	3	
	英語力を伸ばす	Writing in Progress Ⅱ	2	2	演習	3	
		Speaking in Progress Ⅱ	2	2	演習	3	
		Listening in Progress Ⅱ	2	2	演習	3	
		Reading in Progress Ⅱ	2	2	演習	3	
		通訳案内士のための英語	1	2	演習	3	
		エアライン・イングリッシュ	1	2	演習	3	
英語通訳Ⅰ		1	2	演習	3		
英語通訳Ⅱ		1	2	演習	3		
Presentation in English		1	2	演習	3		
TOEIC 演習：Advanced Ⅰ		1	2	演習	2		
TOEIC 演習：Advanced Ⅱ		1	2	演習	3		
英語文学Ⅱ		2	2	講義	3		
京都ホスピタリティ 科目	伝統文化論（茶道）Ⅰ	1	2	演習	1		
	伝統文化論（茶道）Ⅱ	1	2	演習	1		
	伝統文化論（茶道）Ⅲ	1	2	演習	2		
	伝統文化論（茶道）Ⅳ	1	2	演習	2		
	伝統文化論（茶道）Ⅴ	1	2	演習	3		
	伝統文化論（茶道）Ⅵ	1	2	演習	3		
	伝統文化論（茶道）Ⅶ	1	2	演習	4		
	伝統文化論（茶道）Ⅷ	1	2	演習	4		
	伝統文化演習Ⅰ（開基）	1	2	演習	1		
	伝統文化演習Ⅱ（着付け）	1	2	演習	1		
	伝統文化演習Ⅲ（華道）	1	2	演習	1		



授 業 科 目			単位数		週時間	形態	配当年次	備 考
			必修	選択				
専 門 科 目	京都ホスピタリティ科目	京都のおもてなしとライフスタイル	2	2	講義	1		
		京旅館と女将	2	2	講義	1		
		京の和食と和菓子	2	2	講義	1		
		京都の伝統産業	2	2	講義	2		
		京都の歴史	2	2	講義	2		
		京都の祭りと生活文化	2	2	講義	2		
		京都観光研究	2	2	講義	3		
	文化財演習	1	2	演習	3			
	実 習 科 目		観光ボランティア I	1	集中	実習	1	4 単位以上
			観光ボランティア II	1	集中	実習	2	
			海外語学研修 I	3	集中	実習	1	
			海外語学研修 II	3	集中	実習	2	
			ビジネス・インターンシップ I	2	集中	実習	2	
			ビジネス・インターンシップ II	2	集中	実習	3	
			観光フィールドワーク I	3	集中	実習	2	
			観光フィールドワーク II	3	集中	実習	3	
	京都観光案内実習 I	2	集中	実習	2			
	京都観光案内実習 II	2	集中	実習	3			
	卒 業 研 究 科 目		観光学基礎演習	1	2	演習	1	13 単位以上
			観光学講読演習 I	1	2	演習	1	
			観光学講読演習 II	1	2	演習	2	
			専門演習 I	1	2	演習	2	
			専門演習 II	1	2	演習	3	
			専門演習 III	1	2	演習	3	
			専門演習 IV	1	2	演習	4	
			専門演習 V	1	2	演習	4	
	卒業研究	6		演習	4			

### 国際観光学部 国際観光学科 卒業要件単位数

科 目 区 分		単位数	科 目 区 分	単位数	
教 養 科 目	基礎科目 A	10 以上	専 門 科 目	専門導入科目	10 以上
	基礎科目 B	4 以上		専門基礎科目	16 以上
	教養展開科目 A	4 以上		専門展開科目	14 以上
	教養展開科目 B	6 以上		京都ホスピタリティ科目	8 以上
				実習科目	4 以上
教 養 科 目 合 計		24 以上	卒業研究科目	13 以上	
			専 門 科 目 合 計	65 以上	
			卒 業 要 件 総 数	128 以上	

# 国際観光学部 国際観光学科 カリキュラムマップ

- DP1 本学の建学の精神およびキリスト教の精神に基づく人間性と、豊かな教養を有している。  
 DP2 課題発見、探究能力、実行力を核とするジェネリックスキルを身につけている。  
 DP3 ホスピタリティ精神をもって他者と接することができる。  
 DP4 観光の学びを通して、日本・世界の社会や文化の多様性を理解している。  
 DP5 地域社会の課題を理解し、さまざまな地域活動に取り組み、地域に貢献できる能力を有している。  
 DP6 国際的な環境の中で、能動的なコミュニケーションをすることができる。

◎：ディプロマポリシー（DP）と特に関連する科目  
 ○：ディプロマポリシー（DP）に関連がある科目

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			必修	選択						
基礎科目 A	キリスト教学	1	2		◎					◎
	キリスト教文化	1	1	1	◎					◎
	ジェネリックスキルⅠ	1	1		◎	◎				
	ジェネリックスキルⅡ	1	1		◎	◎			◎	
	ジェネリックスキルⅢ	2	1		◎	◎			◎	
	ジェネリックスキルⅣ	2	1		◎	◎			◎	
	ジェネリックスキルⅤ	3	1		◎	◎			◎	
	ジェネリックスキルⅥ	3	1		◎	◎			◎	
	ジェネリックスキルⅦ	4	1		◎	◎			◎	
	ジェネリックスキルⅧ	4	1		◎	◎			◎	
基礎科目 B	日本語表現法Ⅰ	1	1					◎		◎
	日本語表現法Ⅱ	1	1					◎		◎
	日本語表現法Ⅲ	2	1					◎		◎
	日本語表現法Ⅳ	2	1					◎		◎
	英語Ⅰ	1	1					◎		◎
	英語Ⅱ	2	1					◎		◎
	イタリア語Ⅰ	1	1					◎		◎
	イタリア語Ⅱ	1	1					◎		◎
	フランス語Ⅰ	1	1					◎		◎
	フランス語Ⅱ	1	1					◎		◎
	日本語Ⅰ	1	1					◎		◎
	日本語Ⅱ	1	1					◎		◎
	日本語Ⅲ	2	1					◎		◎
	日本語Ⅳ	2	1					◎		◎
日本語講読	3	1					◎		◎	
日本語聴解	3	1					◎		◎	
教養展開科目 A	女性のキャリア形成	1	2		◎	◎	◎			
	ホスピタリティマナー演習	1	1		◎	◎	◎			
	秘書トレーニング	1	1			◎	◎			
	情報技術入門	1	1		◎	◎	◎			
	インフォメーションデザイン演習Ⅰ	2	1		◎	◎	◎			
	インフォメーションデザイン演習Ⅱ	2	1		◎	◎	◎			
	リーダーシップ・トレーニング	2	1		◎	◎	◎			
	ディスカッションの基礎	3	1		◎					◎
	ディスカッションの展開	3	1		◎					◎
	数的処理演習	3	1		◎					
教養展開科目 B	文化人類学	1	2		◎			◎		
	民俗学	1	2		◎			◎	◎	
	地理学	1	2		◎			◎	◎	
	芸術と人間	1	2		◎			◎		
	現代日本文化論	1	2		◎			◎		
	現代社会論	1	2		◎			◎		
	女性学	1	2		◎	◎		◎		
	心理学	1	2		◎	◎		◎		
	生命と環境	1	2		◎			◎		
	マンガとアニメーション	1	2		◎			◎		
現代の教養	1	2		◎			◎			

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数 必修	選択	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
専門 導 入 科 目	国際観光学入門	コミュニケーション論	1	2			○	○	○		○	
		観光概論	1	2						○	○	
		国際観光論	1	2						○	○	
		ホスピタリティ社会論	1	2					○		○	
	中国語入門	中国語発音入門	1	1					○	○		○
		中国語会話入門	1	1					○	○		○
	大学の英語入門	Oral English	1	1					○	○		○
		College English I	1	1					○	○		○
		College English II	1	1					○	○		○
		College English III	1	1					○	○		○
	専 門 科 目 基 礎 科 目	観光ホスピタリティ・ ビジネスの基礎	現代経営論	1	2				○	○	○	
			国際儀礼研究	1	2					○	○	
			ホスピタリティ産業論	1	2		○		○	○		
			ブライダル入門演習	1	1					○	○	
リスク・マネジメント			2	2		○		○	○			
観光経済論			2	2		○		○	○			
交通事業論			2	2		○		○	○			
観光まちづくり論			2	2		○		○	○			
観光政策論			2	2		○		○	○			
観光文化学の諸相		多文化共生論	1	2					○	○		
		世界遺産研究	1	2					○	○		
		観光景観論	1	2					○	○		
		旅行の歴史	1	2					○	○		
		地域環境資源と観光	1	2					○	○		
	観光地誌	2	2					○	○			
	歴史遺産と観光資源	2	2					○	○			
	日本の建築と庭園	2	2					○	○			
	観光文化論	2	2					○	○			
観光学の方法を学ぶ	フィールドワークの方法	2	2			○		○	○			
	観光調査法	2	2			○		○	○			
	観光表現演習	2	1			○		○	○			
中国語の基礎を固める	総合中国語会話 I	1	1					○	○		○	
	総合中国語会話 II	2	1					○	○		○	
	総合中国語読解 I	1	1					○	○		○	
	総合中国語読解 II	2	1					○	○		○	
	中級中国語作文 I	2	2					○	○		○	
	中級中国語会話 I	2	2					○	○		○	
	中級中国語聴解 I	2	2					○	○		○	
	中級中国語読解 I	2	2					○	○		○	
	中国語検定演習	2	1					○	○		○	
英語の基礎を固める	English Writing Skills I	1	1					○	○		○	
	English Writing Skills II	2	1					○	○		○	
	English Listening Skills I	1	1					○	○		○	
	English Listening Skills II	2	1					○	○		○	
	English Speaking Skills I	1	1					○	○		○	
	English Speaking Skills II	2	1					○	○		○	
	Studying Abroad Preparation I	1	1					○	○		○	
	Studying Abroad Preparation II	2	1					○	○		○	
	Writing in Progress I	2	2					○	○		○	
	Speaking in Progress I	2	2					○	○		○	
	Listening in Progress I	2	2					○	○		○	
	Reading in Progress I	2	2					○	○		○	
	観光英語	2	1				○	○	○		○	
	Academic Writing	2	1					○	○		○	
TOEIC 演習 I	1	1					○	○		○		
TOEIC 演習 II	2	1					○	○		○		
英語文学 I	2	2					○	○		○		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
			必修	選択							
専門展開科目	観光ホスピタリティ・ビジネスの探究	ブライダルサービス論	2	2			◎	○			
		ホテルサービス論	2	2			◎	○			
		テーマパーク論	2	2			◎	◎			
		旅行産業論	3	2			◎	◎			
		サービス・マーケティング	3	2			◎	○			
		環境マネジメント論	3	2				○	◎		
		エアラインサービス論	2	2			◎	◎			
		エアラインビジネス論	3	2			◎	◎			
		宿泊施設論	3	2				○	◎		
		カラーコーディネート	3	2				○	◎		
		国内旅行業務（業法・約款・実務）	2	2		○		◎			
		国内旅行業務（地誌）	2	2		○		◎			
		総合旅行業務（海外旅行実務）	3	2		○		◎			
		総合旅行業務（地誌）	3	2		○		◎			
		世界諸地域の研究	地域研究（ヨーロッパ）	2	2				◎	○	
			地域研究（アメリカ）	2	2				◎	○	
			地域研究（環太平洋）	2	2				◎	○	
			地域研究（中国・台湾）	2	2				◎	○	
			地域研究（アジア・アフリカ）	2	2				◎	○	
		観光学の新動向	観光学の理論と歴史	3	2				◎	◎	
			国際観光開発論	3	2				◎	◎	
			エコツーリズム論	3	2				◎	◎	
			アーバン・ツーリズム論	3	2				◎	◎	
			建築・産業遺産研究	3	2				◎	◎	
			教育旅行研究	3	2				◎	◎	
		中国語力を伸ばす	総合中国語会話Ⅲ	2	1				○	◎	
			総合中国語会話Ⅳ	3	1				○	◎	
			総合中国語読解Ⅲ	2	1				○	◎	
			総合中国語読解Ⅳ	3	1				○	◎	
			中級中国語作文Ⅱ	3	2				○	◎	
			中級中国語会話Ⅱ	3	2				○	◎	
			中級中国語聴解Ⅱ	3	2				○	◎	
			中級中国語読解Ⅱ	3	2				○	◎	
			観光中国語	3	1			○	○	◎	
			中国語実務通訳	3	1			○	○	◎	
			中国語観光通訳	3	1			○	○	◎	
		英語力を伸ばす	Writing in Progress II	3	2				○	◎	
			Speaking in Progress II	3	2				○	◎	
			Listening in Progress II	3	2				○	◎	
			Reading in Progress II	3	2				○	◎	
			通訳案内士のための英語	3	1			○	○	◎	
			エアライン・イングリッシュ	3	1			○	○	◎	
		英語通訳Ⅰ	3	1			○	○	◎		
		英語通訳Ⅱ	3	1			○	○	◎		
		Presentation in English	3	1				○	◎		
		TOEIC 演習：Advanced I	2	1				○	◎		
		TOEIC 演習：Advanced II	3	1				○	◎		
		英語文学Ⅱ	3	2				○	◎		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				必修	選択						
専 門 科 目	京都ホスピタリティ科目	京都の伝統文化	伝統文化論（茶道）Ⅰ	1	1	○		◎	○		
		伝統文化論（茶道）Ⅱ	1	1	○		◎	○			
		伝統文化論（茶道）Ⅲ	2	1	○		◎	○			
		伝統文化論（茶道）Ⅳ	2	1	○		◎	○			
		伝統文化論（茶道）Ⅴ	3	1	○		◎	○			
		伝統文化論（茶道）Ⅵ	3	1	○		◎	○			
		伝統文化論（茶道）Ⅶ	4	1	○		◎	○			
		伝統文化論（茶道）Ⅷ	4	1	○		◎	○			
		伝統文化演習Ⅰ（開巻）	1	1			◎	○			
		伝統文化演習Ⅱ（着付け）	1	1			◎	○			
		伝統文化演習Ⅲ（華道）	1	1			◎	○			
	京都文化の探究	京都のおもてなしとライフスタイル	1	2			◎	○	○		
		京旅館と女将	1	2			◎	○	○		
		京の和食と和菓子	1	2			◎	○	○		
		京都の伝統産業	2	2					◎		
		京都の歴史	2	2					◎		
		京都の祭りと生活文化	2	2					◎	◎	
		京都観光研究	3	2					◎	◎	
		文化財演習	3	1					◎	◎	
	実 習 科 目	観光ボランティアⅠ	1	1			○	○	◎	○	○
		観光ボランティアⅡ	2	1			○	○	◎	○	○
		海外語学研修Ⅰ	1	3			○		◎		◎
		海外語学研修Ⅱ	2	3			○		◎		◎
		ビジネス・インターンシップⅠ	2	2			○	◎	○	○	
		ビジネス・インターンシップⅡ	3	2			○	◎	○	○	
		観光フィールドワークⅠ	2	3			○	◎	◎	◎	◎
		観光フィールドワークⅡ	3	3			○		◎	◎	◎
		京都観光案内実習Ⅰ	2	2			○	◎	○	○	◎
		京都観光案内実習Ⅱ	3	2			○	◎	○	○	◎
	卒 業 研 究 科 目	観光学基礎演習	1	1			◎		◎		○
		観光学講読演習Ⅰ	1	1			◎		◎		○
		観光学講読演習Ⅱ	2	1			◎		◎		○
専門演習Ⅰ		2	1			◎		◎			
専門演習Ⅱ		3	1			◎		◎			
専門演習Ⅲ		3	1			◎		◎			
専門演習Ⅳ		4	1			◎		◎			
専門演習Ⅴ		4	1			◎		◎			
卒業研究		4	6			◎		◎			



# 国際観光学部 国際観光学科 カリキュラムツリー

		1年次		2年次		
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	
DP1	基礎科目A	キリスト教文化 2	キリスト教文化 1			
	基礎科目B	ジェネリックスキルⅠ 1	ジェネリックスキルⅡ 1	ジェネリックスキルⅢ 1	ジェネリックスキルⅣ 1	
	教養展開科目A	女性のキャリア形成 2			インフォメーションデザイン演習Ⅰ 1	インフォメーションデザイン演習Ⅱ 1
		ホスピタリティーマナー演習 1			リーダーシップトレーニング 1	
		秘書トレーニング 1				
		情報技術入門 1				
	教養展開科目B	現代日本文化論 2				
		現代社会論 2				
		女性学 2	生命と環境 2			
		心理学 2				
観光ホスピタリティー・ビジネスの基礎	マンガとアニメーション 2	現代の教養 2				
	観光学基礎演習 1	観光学講義演習Ⅰ 1	観光学講義演習Ⅱ 1	リスク・マネジメント 2	専門演習Ⅰ 1	
卒業研究科目						
DP2	教養展開科目A	女性のキャリア形成 2				
	ホスピタリティーマナー演習 1					
	秘書トレーニング 1					
	国際観光学入門		ホスピタリティ社会論 2			
	観光ホスピタリティ・ビジネスの基礎		ホスピタリティ産業論 2			
	観光ホスピタリティ・ビジネスの探究	国際儀礼研究 2				
		フライダル入門演習 1			ホテルサービス論 2	エアラインサービス論 2
	京都の伝統文化	伝統文化論(茶道)Ⅰ 1	伝統文化論(茶道)Ⅱ 1	伝統文化論(茶道)Ⅲ 1	伝統文化論(茶道)Ⅳ 1	
		伝統文化演習Ⅲ(華道) 1	伝統文化演習Ⅰ(囲碁) 1			
			伝統文化演習Ⅱ(書付け) 1			
		京都のおもてなしとライフスタイル 2				
京都文化の探究		京旅館と女将 2				
		京の和食と和菓子 2				
実習科目				ビジネス・インターンシップⅠ 2	京都観光案内実習Ⅰ 2	
DP3	教養展開科目B	民俗学 2	文化人類学 2			
	国際観光学入門		地理学 2			
			芸術と人間 2			
	観光ホスピタリティ・ビジネスの基礎	観光概論 2	国際観光論 2			
		現代経営論 2	ホスピタリティ社会論 2	観光経済論 2	リスク・マネジメント 2	
	観光文化学	国際儀礼研究 2	観光ホスピタリティ産業論 2	交通事業論 2	観光政策論 2	
		観光景観論 2		観光まちづくり論 2		
		世界遺産研究 2	多文化共生論 2	観光地誌 2	日本の建築と庭園 2	
			旅行の歴史 2	歴史遺産と観光資源 2	観光文化論 2	
	観光学の方法を学ぶ		地球環境資源と観光 2	観光人類学 2	観光メディア論 2	
			芸術観光学 2			
			フィールドワークの方法 2	観光表現演習 1		
			観光調査法 2			
DP4	観光ホスピタリティ・ビジネスの探究			国内旅行業務(申込・予約・乗車) 2		
				国内旅行業務(地誌) 2	テーマパーク論 1	
	世界諸地域の研究			地域研究(ヨーロッパ) 2	地域研究(中国・台湾) 2	
				地域研究(環太平洋) 2	地域研究(アメリカ) 2	
				地域研究(アジア・アフリカ) 2		
	観光学の新動向					
				京都の祭りと生活文化 2	京都の伝統産業 2	
	京都文化の探究				京都の歴史 2	
	実習科目		観光ボランティアⅠ 1		観光ボランティアⅡ 1	
卒業研究科目		海外語学研修Ⅰ 3		観光フィールドワークⅠ 3		
	観光学基礎演習 1	観光学講義演習Ⅰ 1	観光学講義演習Ⅱ 1	海外語学研修Ⅱ 3		
				専門演習Ⅰ 1		

必修科目

	3年次		4年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
DP1 基礎科目A	基礎科目A	ジェネリックススキルV 1	ジェネリックススキルⅥ 1	ジェネリックススキルⅦ 1
	基礎科目A	ディスカッションの基礎 1	ディスカッションの展開 1	ジェネリックススキルⅧ 1
DP2 教養展開科目A	教養展開科目A		数的処理演習 1	
	教養展開科目B			
卒業研究科目	専門演習Ⅱ 1	専門演習Ⅲ 1	専門演習Ⅳ 1	専門演習Ⅴ 1
				卒業研究 6
DP3 教養展開科目A	国際観光学入門			
	観光ホスピタリティ・ビジネスの基礎			
観光ホスピタリティ・ビジネスの研究	サービス・マーケティング 2	エアラインビジネス論 2		
	伝統文化論（茶道）Ⅴ 1	伝統文化論（茶道）Ⅵ 1	伝統文化論（茶道）Ⅶ 1	伝統文化論（茶道）Ⅷ 1
京都の伝統文化				
京都文化の探究				
実習科目		ビジネス・インターンシップⅡ 2		
		京都観光茶内実習Ⅱ 2		
DP4 教養展開科目B				
国際観光学入門				
観光ホスピタリティ・ビジネスの基礎				
観光文化の諸相				
観光学の方法を学ぶ				
観光ホスピタリティ・ビジネスの研究	旅行産業論 2	エアラインビジネス論 2		
		宿泊施設論 2		
世界語地域の研究	カラコーコーディネート 2			
	総合旅行業務（海外旅行業務） 2			
	総合旅行業務（地誌） 2			
観光学の新動向	観光学の理論と歴史 2	アーバン・ツーリズム論 2		
	エコツーリズム論 2	国際観光開発論 2		
京都文化の探究	建築・産業遺産研究 2	教育旅行研究 2		
	文化財演習 1	京都観光研究 2		
実習科目		観光フィールドワークⅡ 3		
卒業研究科目	専門演習Ⅱ 1	専門演習Ⅲ 1	専門演習Ⅳ 1	専門演習Ⅴ 1
				卒業研究 6

■ 必修科目



	1年次		2年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
DP5	観光ホスピタリティ・ビジネスの基礎		観光経済論 2	
	観光文化の諸相	観光景観論 2 世界遺産研究 2	交通事業論 2 観光まちづくり論 2	観光政策論 2
	観光学の新動向	多文化共生論 2 地球環境資源と観光 2	歴史遺産と観光資源 2	
	京都文化の探究		京都の祭りと生活文化 2	京都の伝統産業 2 京都の歴史 2
	実習科目			観光フィールドワークⅠ 3
	基礎科目A	キリスト教論 2 日本語表現法Ⅰ 1	日本語表現法Ⅱ 1 英語Ⅰ 1	日本語表現法Ⅲ 1 英語Ⅱ 1
	基礎科目B	イタリア語Ⅰ 1 フランス語Ⅰ 1 日本語Ⅰ 1	イタリア語Ⅱ 1 フランス語Ⅱ 1 日本語Ⅱ 1	日本語Ⅲ 1 日本語Ⅳ 1
	国際観光学入門	コミュニケーション論 2 観光概論 2	国際観光論 2 ホスピタリティ社会論 2	
	中国語入門	中国語発音入門 1 中国語会話入門 1 Oral English 1		
	大学の英語入門	College EnglishⅠ 1 College EnglishⅡ 1 College EnglishⅢ 1		
DP6	中国語の基礎を固める	総合中国語会話Ⅰ 1 総合中国語読解Ⅰ 1	総合中国語会話Ⅱ 1 総合中国語読解Ⅱ 1	中国語検定演習 1 中級中国語作文Ⅰ 2 中級中国語会話Ⅰ 2 中級中国語読解Ⅰ 2 中級中国語読解Ⅱ 2
	英語の基礎を固める	English Writing SkillsⅠ 1 English Listening SkillsⅠ 1 English Speaking SkillsⅠ 1 Studying Abroad PreparationⅠ 1 TOEIC演習Ⅰ 1	English Writing SkillsⅡ 1 English Listening SkillsⅡ 1 English Speaking SkillsⅡ 1 Studying Abroad PreparationⅡ 1 TOEIC演習Ⅱ 1 Academic Writing 1	Writing in ProgressⅠ 2 Speaking in ProgressⅠ 2 Listening in ProgressⅠ 2 Reading in progressⅠ 2 観光英語 1 英語文学Ⅰ 2 総合中国語会話Ⅲ 1 総合中国語読解Ⅲ 1
	中国語力を伸ばす			
	英語力を伸ばす			エアライン・イングリッシュ 1
	実習科目			観光フィールドワークⅠ 3 京都観光案内実習Ⅰ 2 海外語学研修Ⅱ 3
		海外語学研修Ⅰ 3		

■ 必修科目

	3年次		4年次		
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
	観光ホスピタリティ・ビジネスの基礎				
観光文化学の諸相					
DP5 観光ホスピタリティ・ビジネスの探究	観光学の理論と歴史	2	環境マネジメント論	2	
	エコツーリズム論	2	アーバン・ツーリズム論	2	
	建築・産業遺産研究	2	国際観光開発論	2	
	文化財演習	1	教育旅行研究	2	
			京都観光研究	2	
京都文化の探究					
実習科目		観光フィールドワークⅡ	3		
基礎科目A					
基礎科目B					
国際観光学入門	日本語講読	1	日本語聴解	1	
中国語入門					
大学の英語入門					
中国語の基礎を固める					
DP6	英語の基礎を固める				
	中国語力を伸ばす	総合中国語会話Ⅳ	1	観光中国語	1
		総合中国語聴解Ⅳ	1	中国語実務通訳	1
		中級中国語作文Ⅱ	2	中国語観光通訳	1
		中級中国語会話Ⅱ	2		
		中級中国語聴解Ⅱ	2		
		中級中国語聴解Ⅱ	2		
	英語力を伸ばす	TOEIC演習：AdvancedⅠ	1	TOEIC演習：AdvancedⅡ	1
		英語通訳Ⅰ	1	英語通訳Ⅱ	1
		Writing in ProgressⅡ	2	Listening in ProgressⅡ	2
	Speaking in ProgressⅡ	2	Reading in progressⅡ	2	
実習科目			Presentation in English	1	
			通訳案内士のための英語	1	
			英語文学Ⅱ	2	
			観光フィールドワークⅡ	3	
			京都観光案内実習Ⅱ	2	

■ 必修科目



子ども教育学部 子ども教育学科 カリキュラム表  
 教養科目

授業科目	単位数				週時間	形態	配当年次	免許資格				備考	
	必修	選択	(コース必修)					保	幼	小	中		
			乳幼児	子ども 英専									
基礎科目	キリスト教学	2				2	講義	1	○				11 単位以上
	キリスト教文化	1				2	演習	1	○				
	日本語表現法	2				2	講義	1	○				
	英語Ⅰ	1				2	演習	1	○	○	○	○	
	英語Ⅱ	1				2	演習	1	○	○	○	○	
	情報技術Ⅰ	2				2	演習	1	○	○	○	○	
	情報技術Ⅱ		2			2	演習	1					
	音楽理論		2			2	講義	1					
	体育理論		1			1	講義	1	○	○	○	○	
	体育実技		1			2	実技	1	○	○	○	○	
	日本国憲法		2			2	講義	1	△	○	○	○	
	ジェネリックスキルⅠ	1				2	演習	1					
	ジェネリックスキルⅡ	1				2	演習	1					
教養展開科目 A	生命と環境		2			2	講義	1					4 単位以上
	健康の科学		2			2	講義	1					
	現代社会論		2			2	講義	1					
	市民生活と法		2			2	講義	1					
	女性学		2			2	講義	1					
	国際理解		2			2	講義	1					
	子どもの読書生活		2			2	講義	1	▲				
	人権と子ども		2			2	講義	1					
	乳幼児教育・保育の基礎		2			2	講義	1					
	現代の教養		2			2	講義	1					
教養展開科目 B	伝統文化論(茶道)Ⅰ	1				2	演習	1					2 単位以上
	伝統文化論(茶道)Ⅱ	1				2	演習	1					
	伝統文化論(茶道)Ⅲ		1			2	演習	2					
	伝統文化論(茶道)Ⅳ		1			2	演習	2					
	伝統文化論(茶道)Ⅴ		1			2	演習	3					
	伝統文化論(茶道)Ⅵ		1			2	演習	3					
	伝統文化論(茶道)Ⅶ		1			2	演習	4					
	伝統文化論(茶道)Ⅷ		1			2	演習	4					

子ども教育学部 子ども教育学科 専門科目

授業科目	単位数				週時間	形態	配当年次	免許資格				備考	
	必修	選択	(コース必修)					保	幼	小	中		
			乳幼児	子ども英専									
学部 基幹 科目	保育原理		2			2	講義	1	○				いずれか 選択必修
	教育原理	2				2	講義	1	○	○	○	○	
	教職論(幼・保)		2			2	講義	1	○	○			
	教職論(小・中)		2			2	講義	1			○	○	
	発達心理学	2				2	講義	1	○	○	○	○	
	社会福祉原論Ⅰ		2			2	講義	1	○				
	社会福祉原論Ⅱ		2			2	講義	3	▲				
	体験実習 aⅠ		1			2	実習	1		□	■	▼	
	体験実習 aⅡ		1			2	実習	2		□	■	▼	
	体験実習 b		1			2	実習	2					
	教育ボランティアワーク		1			集中	実習	4		□	■	▼	
	子ども学研究入門Ⅰ	1				2	演習	2					
	子ども学研究入門Ⅱ	1				2	演習	2					
	子ども学専門演習Ⅰ	1				2	演習	3					
子ども学専門演習Ⅱ	1				2	演習	3						
子ども学専門演習Ⅲ	1				2	演習	4						
子ども学専門演習Ⅳ	1				2	演習	4						
専 門 科 目	教育実習指導 a		1			集中	演習	3		☆1	★1		18 単位以上
	教育実習 a		4			集中	実習	3		☆1	★1		
	教育実習指導 b		1			集中	演習	3		☆2	★2		
	教育実習 b		4			集中	実習	3		☆2	★2		
	教育実習指導 c		1			集中	演習	3				○	
	教育実習 c		4			集中	実習	4				○	
	保育実習指導Ⅰ a		1			2	演習	2	○				
	保育実習Ⅰ a		2			集中	実習	2	○				
	保育実習指導Ⅰ b		1			2	演習	2	○				
	保育実習Ⅰ b		2			集中	実習	2	○				
	保育実習指導Ⅱ		1			2	演習	3	○				
保育実習Ⅱ		2			集中	実習	3	○					
教職実践演習(幼・小・中)	2				2	演習	4	○	○	○	○		
専 門 発 展 科 目	子どもの心と教育		2			2	講義	3	▲				4 単位以上
	子どものメディア論		2			2	講義	3	▲				
	子どもの生活空間		2			2	講義	3	▲				
	子どもの食育論		2			2	講義	3	▲				
	子どもの遊び		2			2	講義	3	▲				
	地域福祉論		2			2	講義	3	▲				
	障害者福祉論		2			2	講義	3	▲				
	カウンセリング理論		2			2	講義	3	▲				
	家族心理学		2			2	講義	3	▲				
	異文化理解		2		◎	◎	2	講義	3			○	
	多文化共生論		2			2	講義	3				▽	

授 業 科 目	単位数					週時間	形態	配当 年次	免許資格				備考	
	必修	選択	(コース必修)						保	幼	小	中		
			乳幼児	子ども	英専									
子 ど も 教 育 科 目	比較教育制度論	2					2	講義	3		○	○	○	42 単位以上
	特別支援教育論	1					1	講義	2		○	○	○	
	教育課程論	2					2	講義	2		○	○	○	
	幼児教育方法論		2				2	講義	2		○			
	教育方法論		2				2	講義	2		○	○	○	
	教育相談		2				2	講義	2		○	○	○	
	総合教育		1				2	演習	1					
	ピアノ基礎Ⅰ		1				2	演習	1					
	ピアノ基礎Ⅱ		1				2	演習	1					
	器楽Ⅰ		1				2	演習	2	▲				
	器楽Ⅱ		1				2	演習	2	▲				
	器楽Ⅲ		1				2	演習	3	▲				
	器楽Ⅳ		1				2	演習	3	▲				
	音楽基礎(ソルフェージュ)	1					2	演習	1					
幼児と音楽		1				2	演習	2	▲					
専 門 科 目  乳 幼 児 保 育 科 目	健康	2※	○				2	講義	1		○			※からいずれか 1科目選択必修
	人間関係	2※	○				2	講義	1		○			
	環境	2※	○				2	講義	1		○			
	言葉	2※	○				2	講義	1		○			
	表現	2※	○				2	講義	1		○			
	保育内容総論	2		○			2	演習	1	○				
	保育内容(健康)	2		○			2	演習	2	○	○			
	保育内容(人間関係)	2		○			2	演習	2	○	○			
	保育内容(環境)	2		○			2	演習	2	○	○			
	保育内容(言葉)	2		○			2	演習	2	○	○			
	保育内容(造形表現)	2		○			2	演習	2	○	○			
	保育内容(表現活動)	2		○			2	演習	2	○	○			
	子ども家庭福祉	2		○			2	講義	2	○				
	子ども家庭支援論	2		○			2	講義	3	○				
	社会的養護Ⅰ	2		○			2	講義	2	○				
	子ども家庭支援の心理学	2		○			2	講義	3	○				
	幼児理解	1		○			2	演習	3	○	○			
	子どもの保健	2		○			2	講義	1	○				
	子どもの食と栄養	2		○			2	演習	2	○				
	保育の計画と評価	2		○			2	講義	2	○				
	保育の表現技術Ⅰ	2		○			2	演習	3	○				
	保育の表現技術Ⅱ	2		○			2	演習	3	○				
	乳児保育Ⅰ	2		○			2	講義	2	○				
	乳児保育Ⅱ	1		○			2	演習	2	○				
	子どもの健康と安全	1		○			2	演習	2	○				
	障害児教育	2		○			2	演習	2	○				
	社会的養護Ⅱ	1		○			2	演習	2	○				
	子育て支援	1		○			2	演習	3	○				
初 等 中 等 教 育 科 目	道徳教育論	2		○	○		2	講義	3			○	○	※〔教科国語〕 〔教科生活〕 〔教科英語〕 からいずれか 1科目選択必修
	総合的な学習の時間の指導法	2		○	○		2	講義	3			○	○	
	特別活動の指導法	2		○	○		2	講義	3			○	○	
	生徒指導・進路指導論	2		○	○		2	講義	3			○	○	
	教科国語	2※		○	○		2	講義	1		◇	◆		
	教科社会	2		○	○		2	講義	1			◆		
	教科算数	2		○	○		2	講義	1		◇	◆		
	教科理科	2		○	○		2	講義	1			◆		
	教科生活	2※		○	○		2	講義	1		◇	◆		
	教科音楽	2		○	○		2	講義	1		◇	◆		
	教科図画工作	2		○	○		2	講義	1		◇	◆		
	教科家庭	2		○	○		2	講義	1			◆		
	教科体育	2		○	○		2	講義	1		◇	◆		
	教科英語	2※		○	○		2	講義	1			◆		

授業科目	単位数					週時間	形態	配当年次	免許資格				備考
	必修	選択	(コース必修)						保	幼	小	中	
			乳幼児	子ども	英専								
初等中等教育科目	国語科教育法Ⅰ		2		○	○	2	講義	2			○	
	国語科教育法Ⅱ		2		○	○	2	講義	3			■	
	社会科教育法Ⅰ		2		○	○	2	講義	2			○	
	社会科教育法Ⅱ		2		○	○	2	講義	3			■	
	算数科教育法Ⅰ		2		○	○	2	講義	2			○	
	算数科教育法Ⅱ		2		○	○	2	講義	3			■	
	理科教育法Ⅰ		2		○	○	2	講義	2			○	
	理科教育法Ⅱ		2		○	○	2	講義	3			■	
	生活科教育法		2		○	○	2	講義	2			○	
	音楽科教育法		2		○	○	2	講義	2			○	
	図画工作科教育法		2		○	○	2	講義	2			○	
	家庭科教育法		2		○	○	2	講義	2			○	
	体育科教育法		2		○	○	2	講義	2			○	
	英語科教育法		2		◎	◎	2	講義	2			○	
	水泳指導法		1		○	○	2	実習	2				
	中学校英語指導法Ⅰ		2		○	○	2	講義	2				○
	中学校英語指導法Ⅱ		2		○	○	2	講義	3				○
	中学校英語指導法Ⅲ		2		○	○	2	講義	3				○
	中学校英語指導法Ⅳ		2		○	○	2	講義	4				○
	児童英語教育論		2		○	○	2	講義	3			■	
英語教材研究		2		○	○	2	講義	3			■		
学習指導の技術Ⅰ		2		○	○	2	講義	3					
学習指導の技術Ⅱ		2		○	○	2	講義	3					
専門科目	第二言語教育論		2			△	2	講義	3				
	英語学Ⅰ		2			◎	2	講義	2				○
	英語学Ⅱ		2			◎	2	講義	3				○
	Children's Literature		2			△	2	講義	3				▼
	初級英語コミュニケーションⅠ		1			◎	2	演習	2				○
	初級英語コミュニケーションⅡ		1			◎	2	演習	2				○
	中級英語コミュニケーションⅠ		1			△	2	演習	3				○
	中級英語コミュニケーションⅡ		1			△	2	演習	3				○
	上級英語コミュニケーションⅠ		1			△	2	演習	4				○
	上級英語コミュニケーションⅡ		1			△	2	演習	4				○
	英語プレゼンテーション		1			△	2	演習	3				▼
	海外の子どもと教育Ⅰ		2			△	2	講義	2				▽
	海外の子どもと教育Ⅱ		2			△	2	講義	2				▽
	Children's Life in English		2			△	2	講義	3				▽
	実用英語Ⅰ		1			△	2	演習	1				
	実用英語Ⅱ		1			△	2	演習	1				
	実用英語Ⅲ		1			△	2	演習	2				
	実用英語Ⅳ		1			△	2	演習	2				
	TOEIC 演習Ⅰ		1			△	2	演習	3				
	TOEIC 演習Ⅱ		1			△	2	演習	3				
メディアの英語 a		1			△	2	演習	2					
メディアの英語 b		1			△	2	演習	2					
ホスピタリティ英語		1			△	2	演習	1					
保育・教育の英語		1			△	2	演習	1					
Japanese Culture in English		2			◎	2	講義	3					
海外英語研修		1			△		集中実習	1					
卒業研究		6						演習	4				6単位

国際観光学科	授業科目	単位数					週時間	形態	配当年次	免許資格				備考
		必修	選択	(コース必修)						保	幼	小	中	
				乳幼児	子ども	英専								
	英語文学Ⅰ		2				2	講義	2				○	
	英語文学Ⅱ		2				2	講義	3				○	

コース略称：「乳幼児」…乳幼児保育コース、「子ども」…子ども教育コース、「英専」…子ども教育コース（英語教育専修）

各コースにおいて、「◎」…コース必修、「○」…14単位選択必修、「△」…14単位選択必修

免許資格欄：○…免許資格の必修科目 ☆★◆◇■□▲…免許資格の選択科目

保（保育士資格）：▲から6単位以上修得。

幼（幼稚園教諭一種免許状）：☆1か☆2を選択必修。◇から6単位以上修得。◇と□から13単位以上修得。

小（小学校教諭一種免許状）：★1か★2を選択必修。◆から8単位以上修得。◆と■から14単位以上修得。

中（中学校教諭一種免許状（英語））：▽から4単位以上修得。○と▽と▼から58単位以上修得。

子ども教育学部 子ども教育学科 卒業要件単位数

科目区分		単位数	科目区分	単位数
教養科目	基礎科目	11 以上	学部基幹科目	18 以上
			実習科目	
	教養展開科目 A	4 以上	専門発展科目	4 以上
			子ども教育科目	42 以上
			乳幼児保育科目	
			初等中等教育科目	
教養展開科目 B	2 以上	英語教育科目	6	
		卒業研究		
教養科目合計		17 以上	専門科目合計	70 以上
			卒業要件総数	128 以上



# 子ども教育学部 子ども教育学科 カリキュラムマップ

- DP1 本学の建学の精神およびキリスト教の精神に基づく人間性と、豊かな教養を有している。
- DP2 子どもの教育や保育に関する幅広い知識および技能を身につけ、それを応用し、実践につなげることができる。
- DP3 子どもの教育や保育に関わる専門家としての責任感、倫理観を持って、社会に貢献することができる。
- DP4 子どもを取り巻く様々な課題を多角的にとらえ、必要な情報を収集、分析、整理し、問題解決に向けて創造的に思考することができる。
- DP5 社会性を身につけ、他者に共感し協働してものごとに取り組むことができる。

◎：ディプロマポリシー（DP）と特に関連する科目  
 ○：ディプロマポリシー（DP）に関連がある科目

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		DP1		DP2		DP3		DP4		DP5		
			必修	選択	乳幼児・子ども	英専	乳幼児・子ども	英専	乳幼児・子ども	英専	乳幼児・子ども	英専	乳幼児・子ども	英専	
教 育 目 的	キリスト教学	1	2		◎	◎	◎								
	キリスト教文化	1	1		◎	◎	◎								
	日本語表現法	1	2		◎	◎	◎								
	英語Ⅰ	1	1		◎	◎	◎								
	英語Ⅱ	1	1		◎	◎	◎								
	情報技術Ⅰ	1	2		◎	◎	◎								
	情報技術Ⅱ	1	2		◎	◎	◎								
	音楽理論	1	2		◎	◎	◎	◎	◎	◎					
	体育理論	1	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎					
	体育実技	1	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎					
	日本国憲法	1	2		◎	◎	◎	◎	◎	◎					
	ジェネリックスキルⅠ	1	1		◎	◎	◎						◎	◎	
	ジェネリックスキルⅡ	1	1		◎	◎	◎						◎	◎	
	教 養 展 開 目 的 A	生命と環境	1	2		◎	◎	◎							
		健康の科学	1	2		◎	◎	◎							
		現代社会論	1	2		◎	◎	◎							
		市民生活と法	1	2		◎	◎	◎							
		女性学	1	2		◎	◎	◎							
		国際理解	1	2		◎	◎	◎							
		子どもの読書生活	1	2		◎	◎	◎	◎	◎	◎				
人権と子ども		1	2		◎	◎	◎			◎	◎				
乳幼児教育・保育の基礎		1	2		◎	◎	◎	◎	◎	◎					
現代の教養		1	2		◎	◎	◎								
教 養 展 開 目 的 B	伝統文化論（茶道）Ⅰ	1	1		◎	◎	◎								
	伝統文化論（茶道）Ⅱ	1	1		◎	◎	◎								
	伝統文化論（茶道）Ⅲ	2	1		◎	◎	◎								
	伝統文化論（茶道）Ⅳ	2	1		◎	◎	◎								
	伝統文化論（茶道）Ⅴ	3	1		◎	◎	◎								
	伝統文化論（茶道）Ⅵ	3	1		◎	◎	◎								
	伝統文化論（茶道）Ⅶ	4	1		◎	◎	◎								
	伝統文化論（茶道）Ⅷ	4	1		◎	◎	◎								
専 門 基 幹 科 目	保育原理	1	2					◎	◎	◎	◎	◎			
	教育原理	1	2					◎	◎	◎	◎	◎			
	教職論（幼・保）	1	2					◎	◎	◎	◎	◎			
	教職論（小・中）	1	2					◎	◎	◎	◎	◎			
	発達心理学	1	2					◎	◎	◎					
	社会福祉原論Ⅰ	1	2					◎	◎	◎	◎	◎			
	社会福祉原論Ⅱ	3	2					◎	◎	◎	◎	◎			
	体験実習 aⅠ	1	1							◎	◎		◎	◎	
	体験実習 aⅡ	2	1							◎	◎		◎	◎	
	体験実習 b	2	1							◎	◎		◎	◎	
	教育ボランティアワーク	4	1							◎	◎		◎	◎	
	子ども学研究入門Ⅰ	2	1					◎	◎	◎	◎				
	子ども学研究入門Ⅱ	2	1					◎	◎	◎	◎				
	子ども学専門演習Ⅰ	3	1					◎	◎	◎	◎				
	子ども学専門演習Ⅱ	3	1					◎	◎	◎	◎				
	子ども学専門演習Ⅲ	4	1					◎	◎	◎	◎				
	子ども学専門演習Ⅳ	4	1					◎	◎	◎	◎				
	実 習 科 目	教育実習指導 a	3	1					◎	◎	◎	◎		◎	◎
		教育実習 a	3	4					◎	◎	◎	◎		◎	◎
		教育実習指導 b	3	1					◎	◎	◎	◎		◎	◎
教育実習 b		3	4					◎	◎	◎	◎		◎	◎	
教育実習指導 c		3	1					◎	◎	◎	◎		◎	◎	
教育実習 c	4	4					◎	◎	◎	◎		◎	◎		

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
			必修	選択	乳幼児;子ども;英専	乳幼児;子ども;英専	乳幼児;子ども;英専	乳幼児;子ども;英専	乳幼児;子ども;英専	
実習科目	保育実習指導Ⅰa	2	1		○	○	○		○	
	保育実習Ⅰa	2	2		○	○			○	
	保育実習指導Ⅰb	2	1		○	○	○		○	
	保育実習Ⅰb	2	2		○	○			○	
実習科目	保育実習指導Ⅱ	3	1		○	○	○		○	
	保育実習Ⅱ	3	2		○	○			○	
	教職実践演習(幼・小・中)	4	2		○	○	○	○	○	
	子どもの心と教育	3	2		○	○	○	○	○	
専門発展科目	子どものメディア論	3	2		○	○		○	○	
	子どもの生活空間	3	2		○	○		○	○	
	子どもの食育論	3	2		○	○		○	○	
	子どもの遊び	3	2		○	○		○	○	
	地域福祉論	3	2		○	○	○	○	○	
	障害者福祉論	3	2		○	○		○	○	
	カウンセリング理論	3	2		○	○	○	○	○	
	家族心理学	3	2		○	○		○	○	
	異文化理解	3	2		○	○		○	○	
	多文化共生論	3	2		○	○		○	○	
子ども教育科目	比較教育制度論	3	2		○	○	○	○	○	
	特別支援教育論	2	1		○	○	○	○	○	
	教育課程論	2	2		○	○	○	○	○	
	幼児教育方法論	2	2		○	○	○	○	○	
	教育方法論	2	2		○	○	○	○	○	
	教育相談	2	2		○	○	○	○	○	
	総合教育	1	1						○	
	ピアノ基礎Ⅰ	1	1		○	○	○	○	○	
	ピアノ基礎Ⅱ	1	1		○	○	○	○	○	
	器楽Ⅰ	2	1		○	○	○	○	○	
	器楽Ⅱ	2	1		○	○	○	○	○	
	器楽Ⅲ	3	1		○	○	○	○	○	
	器楽Ⅳ	3	1		○	○	○	○	○	
	音楽基礎(ソルフエージュ)	1	1		○	○	○	○	○	
	幼児と音楽	2	1		○	○	○	○	○	
	乳幼児保育科目	健康	1	2※		○	○	○	○	○
		人間関係	1	2※		○	○	○	○	○
環境		1	2※		○	○	○	○	○	
言葉		1	2※		○	○	○	○	○	
表現		1	2※		○	○	○	○	○	
保育内容総論		1	2		○	○	○	○	○	
保育内容(健康)		2	2		○	○	○	○	○	
保育内容(人間関係)		2	2		○	○	○	○	○	
保育内容(環境)		2	2		○	○	○	○	○	
保育内容(言葉)		2	2		○	○	○	○	○	
保育内容(造形表現)		2	2		○	○	○	○	○	
保育内容(表現活動)		2	2		○	○	○	○	○	
子ども家庭福祉		2	2		○	○	○	○	○	
子ども家庭支援論		3	2		○	○	○	○	○	
社会的養護Ⅰ		2	2		○	○	○	○	○	
子ども家庭支援の心理学		3	2		○	○	○	○	○	
幼児理解		3	1		○	○	○	○	○	
子どもの保健		1	2		○	○	○	○	○	
子どもの食と栄養		2	2		○	○	○	○	○	
保育の計画と評価		2	2		○	○	○	○	○	
保育の表現技術Ⅰ		3	2		○	○	○	○	○	
保育の表現技術Ⅱ		3	2		○	○	○	○	○	
乳児保育Ⅰ		2	2		○	○	○	○	○	
乳児保育Ⅱ		2	1		○	○	○	○	○	
子どもの健康と安全		2	1		○	○	○	○	○	
障害児教育		2	2		○	○	○	○	○	
社会的養護Ⅱ		2	1		○	○	○	○	○	
子育て支援	3	1		○	○	○	○	○		

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		DP1		DP2		DP3		DP4		DP5	
			必修	選択	乳幼児;子ども;英専	乳幼児;子ども;英専	乳幼児;子ども;英専	乳幼児;子ども;英専	乳幼児;子ども;英専	乳幼児;子ども;英専				
専 門 科 目	道徳教育論	3	2				○	○	○	○	○			
	総合的な学習の時間の指導法	3	2				○	○	○	○	○			
	特別活動の指導法	3	2				○	○	○	○	○			
	生徒指導・進路指導論	3	2				○	○	○	○	○			
	教科国語	1	2*				○	○	○	○	○			
	教科社会	1	2				○	○	○	○	○			
	教科算数	1	2				○	○	○	○	○			
	教科理科	1	2				○	○	○	○	○			
	教科生活	1	2*				○	○	○	○	○			
	教科音楽	1	2				○	○	○	○	○			
	教科図画工作	1	2				○	○	○	○	○			
	教科家庭	1	2				○	○	○	○	○			
	教科体育	1	2				○	○	○	○	○			
	教科英語	1	2*				○	○	○	○	○			
	国語科教育法Ⅰ	2	2				○	○	○	○	○			
	国語科教育法Ⅱ	3	2				○	○	○	○	○			
	社会科教育法Ⅰ	2	2				○	○	○	○	○			
	社会科教育法Ⅱ	3	2				○	○	○	○	○			
	算数科教育法Ⅰ	2	2				○	○	○	○	○			
	算数科教育法Ⅱ	3	2				○	○	○	○	○			
	理科教育法Ⅰ	2	2				○	○	○	○	○			
	理科教育法Ⅱ	3	2				○	○	○	○	○			
	生活科教育法	2	2				○	○	○	○	○			
	音楽科教育法	2	2				○	○	○	○	○			
	図画工作科教育法	2	2				○	○	○	○	○			
	家庭科教育法	2	2				○	○	○	○	○			
	体育科教育法	2	2				○	○	○	○	○			
	英語科教育法	2	2				○	○	○	○	○			
	水泳指導法	2	1				○	○	○	○	○			
	中学校英語指導法Ⅰ	2	2						○		○			
	中学校英語指導法Ⅱ	3	2								○			
	中学校英語指導法Ⅲ	3	2								○			
	中学校英語指導法Ⅳ	4	2								○			
	児童英語教育論	3	2				○	○	○	○	○			
	英語教材研究	3	2				○	○	○	○	○			
	学習指導の技術Ⅰ	3	2				○	○	○	○	○			
学習指導の技術Ⅱ	3	2				○	○	○	○	○				
第二言語教育論	3	2				○	○	○	○	○				
英語学Ⅰ	2	2				○	○	○	○	○				
英語学Ⅱ	3	2				○	○	○	○	○				
Children's Literature	3	2				○	○	○	○	○				
初級英語コミュニケーションⅠ	2	1				○	○	○	○	○				
初級英語コミュニケーションⅡ	2	1				○	○	○	○	○				
中級英語コミュニケーションⅠ	3	1				○	○	○	○	○				
中級英語コミュニケーションⅡ	3	1				○	○	○	○	○				
上級英語コミュニケーションⅠ	4	1				○	○	○	○	○				
上級英語コミュニケーションⅡ	4	1				○	○	○	○	○				
英語プレゼンテーション	3	1				○	○	○	○	○				
海外の子どもと教育Ⅰ	2	2				○	○	○	○	○				
海外の子どもと教育Ⅱ	2	2				○	○	○	○	○				
Children's Life in English	3	2				○	○	○	○	○				
実用英語Ⅰ	1	1				○	○	○	○	○				
実用英語Ⅱ	1	1				○	○	○	○	○				
実用英語Ⅲ	2	1				○	○	○	○	○				
実用英語Ⅳ	2	1				○	○	○	○	○				
TOEIC 演習Ⅰ	3	1				○	○	○	○	○				
TOEIC 演習Ⅱ	3	1				○	○	○	○	○				
メディアの英語 a	2	1				○	○	○	○	○				
メディアの英語 b	2	1				○	○	○	○	○				
ホスピタリティ英語	1	1				○	○	○	○	○				
保育・教育の英語	1	1				○	○	○	○	○				
Japanese Culture in English	3	2				○	○	○	○	○				
海外英語研修	1	1				○	○	○	○	○				
卒業研究	4	6				○	○	○			○	○	○	



# 子ども教育学部 子ども教育学科 カリキュラムツリー 《乳幼児保育コース》

		必修		選択			
		春学期	秋学期	春学期	秋学期		
DP1	基礎科目	キリスト教学	2	キリスト教文化	1		
		日本語表現法	2				
		英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1		
		情報技術Ⅰ	2	情報技術Ⅱ	2		
		体育理論	1				
		体育実技	1				
		音楽理論	2				
		日本国憲法	2				
		ジェネリクススキルⅠ	1	ジェネリクススキルⅡ	1		
		健康の科学	2	生命と環境	2		
	教養履修科目A	現代社会論	2	市民生活と法	2		
		国際理解	2	女性学	2		
		人権と子ども	2	子どもの読書生活	2		
		現代の教養	2	乳幼児教育・保育の基礎	2		
教養履修科目B	伝統文化論（茶道）Ⅰ	1	伝統文化論（茶道）Ⅱ	1			
	教育原理	2					
学部基幹科目	保育原理	2	教職論（小・中）	2			
	発達心理学	2	教職論（幼・保）	2			
			社会福祉原論Ⅰ	2			
専門必修科目							
DP2	子ども教育科目	ピアノ基礎Ⅰ	1	ピアノ基礎Ⅱ	1		
		音楽基礎（ソルフェージュ）	1	音楽Ⅰ	1		
	乳幼児保育科目			音楽Ⅱ	1		
				幼児と音楽	1		
				幼児教育方法論	2		
				教育相談	2		
				教育課程論	2		
				特別支援教育論	1		
		人間関係	2	健康	2	保育内容（人間関係）	2
		環境	2	音楽	2	保育内容（健康）	2
表現		2			保育内容（音楽）	2	
保育内容総論		2			保育内容（表現活動）	2	
		子どもの保健	2	保育内容（造形表現）	2		
				社会的養護Ⅰ	2		
				社会的養護Ⅱ	1		
				乳児保育Ⅰ	2		
				乳児保育Ⅱ	1		
				子どもの食と栄養	2		
				子どもの健康と安全	2		
				子ども家庭福祉	2		
				障害児教育	2		
				保育の計画と評価	2		
初等中等教育科目	教科英語	2	教科国語	2			
			教科生活	2			
DP3 実習科目							
DP4 学部基幹科目			保育実習指導Ⅰa	1	保育実習Ⅰa	2	
DP5 学部基幹科目			保育実習指導Ⅰb	1	保育実習Ⅰb	2	
	子ども教育科目			子ども学研究入門Ⅰ	1	子ども学研究入門Ⅱ	1
		体験実習aⅠ	1	体験実習aⅡ	1	体験実習b	1
		総合教育	1				

必修科目

選択必修科目

		3年次		4年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
DP1	基礎科目				
	教養履修科目A				
	教養履修科目B	伝統文化論（茶道）Ⅴ 1	伝統文化論（茶道）Ⅵ 1	伝統文化論（茶道）Ⅶ 1	伝統文化論（茶道）Ⅷ 1
DP2	学部基幹科目		社会福祉原論Ⅱ 2		
	専門履修科目	子どもの心と教育 2	子どものメディア論 2		
		子どもの遊び 2	子どもの生活空間 2		
		子どもの食育論 2	家族心理学 2		
		地域福祉論 2	障害者福祉論 2		
		カウンセリング理論 2			
		異文化理解 2	多文化共生論 2		
		器楽Ⅲ 1	器楽Ⅳ 1		
	子ども教育科目		比較教育制度論 2		
	DP2	乳幼児保育科目		子ども家庭支援の心理学 2	
子ども家庭福祉 2					
幼児理解 2					
保育の実現技術Ⅰ 1			保育の実現技術Ⅱ 1		
初等中等教育科目			子育て支援 1		
DP3	実習科目	教育実習指導a 1	教育実習a 4		
		保育実習指導Ⅱ 1	保育実習Ⅱ 2		
DP4	学部基幹科目	子ども学専門演習Ⅰ 1	子ども学専門演習Ⅱ 1	子ども学専門演習Ⅲ 1	教職実践演習（幼・小・中） 2
DP6	学部基幹科目				子ども学専門演習Ⅳ 1
				教育ボランティアワーク 1	

# 《子ども教育コース》

	必修科目		選択必修科目						
	春学期	秋学期	春学期	秋学期					
DP1	基礎科目	キリスト教学	2	キリスト教文化	1				
		日本語表現法	2						
		英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1				
		情報技術Ⅰ	2	情報技術Ⅱ	2				
		体育理論	1						
	体育実技	1							
	音楽理論	2							
	日本国憲法	2							
	ジェネリクススキルⅠ	1	ジェネリクススキルⅡ	1					
	教養履修科目A	健康の科学	2	生命と環境	2				
		現代社会論	2	市民生活と法	2				
		国際理解	2	性学	2				
		人権と子ども	2	子どもの読書生活	2				
		現代の教養	2	乳幼児教育・保育の基礎	2				
	教養履修科目B	伝統文化論(茶道)Ⅰ	1	伝統文化論(茶道)Ⅱ	1	伝統文化論(茶道)Ⅲ	1		
教育原理		2			伝統文化論(茶道)Ⅳ	1			
学部基礎科目			教職論(小・中)	2					
			教職論(幼・保)	2					
専門発展科目									
子ども教育科目									
DP2	乳幼児保育科目	音楽基礎(ソルフェージュ)	1						
	乳幼児保育科目	人間関係	2	健康	2	幼児教育方法論	2		
		環境	2	言葉	2	教育方法論	2		
		表現	2			教育相談	2		
		保育内容総論	2			教育課程論	2		
						特別支援教育論	1		
	初等中等教育科目	教科社会	2	教科国語	2	保育内容(人間関係)	2	保育内容(健康)	2
		教科算数	2	教科生活	2	保育内容(環境)	2	保育内容(言葉)	2
		教科理科	2	教科音楽	2	保育内容(表現活動)	2	保育内容(造形表現)	2
		教科家庭	2	教科図画工作	2				
		教科体育	2			社会科教育法Ⅰ	2	国語科教育法Ⅰ	2
	教科英語	2			算数科教育法Ⅰ	2	生活科教育法	2	
					理科教育法Ⅰ	2	音楽家教育法	2	
					家庭科教育法	2	図画工作科教育法	2	
				体育科教育法	2				
				英語科教育法	2				
						水泳指導法	1		
DP3	実習科目								
DP4	学部基礎科目			子ども学研究入門Ⅰ	1	子ども学研究入門Ⅱ	1		
DP5	学部基礎科目	体験実習aⅠ	1	体験実習aⅡ	1	体験実習b	1		
		子ども教育科目							
DP5	子ども教育科目	総合教育	1						

必修科目

選択必修科目

		2022年度		2023年度	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
DP1	基礎科目				
	教養履修科目A				
	教養履修科目B	伝統文化論（茶道）Ⅴ 1	伝統文化論（茶道）Ⅵ 1	伝統文化論（茶道）Ⅶ 1	伝統文化論（茶道）Ⅷ 1
DP2	学部基礎科目				
	専門発展科目	子どもの心と教育 2 子どもの遊び 2 子どもの食育論 2 地域福祉論 2 カウンセリング理論 2 異文化理解 2	子どものメディア論 2 子どもの生活空間 2 家族心理学 2 障害者福祉論 2 多文化共生論 2		
	子ども教育科目		比較教育制度論 2		
	乳幼児保育科目				
	初等中等教育科目	国語科教育法Ⅱ 2 社会科教育法Ⅱ 2 算数科教育法Ⅱ 2 理科教育法Ⅱ 2			
DP3	実習科目	道徳教育論 2 生徒指導・進路指導論 2 児童英語教育論 2 学習指導の技術Ⅰ 2 教育実習指導b 1	総合的な学習の時間の指導法 2 特別活動の指導法 2 英語教材研究 2 学習指導の技術Ⅱ 2 教育実習b 4		
DP4	学部基礎科目	子ども学専門演習Ⅰ 1	子ども学専門演習Ⅱ 1	子ども学専門演習Ⅲ 1	教職実践演習（幼・小・中） 2
DP5	学部基礎科目				子ども学専門演習Ⅳ 1
	子ども教育科目			教育ボランティアワーク 1	



# 《子ども教育コース（英語教育専修）》

	【学 年】		【学 年】				
	春学期	秋学期	春学期	秋学期			
DP1	基礎科目	キリスト教文化	2	キリスト教文化	1		
		日本語表現法	2				
		英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1		
		情報技術Ⅰ	2	情報技術Ⅱ	2		
		体育理論	1				
		体育実技	1				
	教養選開 科目A	音楽理論	2				
		日本国憲法	2				
		ジェネリクススキルⅠ	1	ジェネリクススキルⅡ	1		
		健康の科学	2	生命と環境	2		
		現代社会論	2	市民生活と法	2		
		国際理解	2	女性学	2		
		人権と子ども	2	子どもの読書生活	2		
教養選開 科目B	現代の教養	2	乳幼児教育・保育の基礎	2			
	伝統文化論（茶道）Ⅰ	1	伝統文化論（茶道）Ⅱ	1	伝統文化論（茶道）Ⅲ	1	
学部基幹 科目	教育原理	2					
	発達心理学	2	教職論（小・中）	2			
専門発展 科目							
子ども教育 科目	音楽基礎（ソルフェージュ）	1					
			教育方法論	2			
			教育相談	2			
			教育課程論	2			
DP2	乳幼児保育 科目			特別支援教育論	1		
		人間関係	2	健康	2		
		環境	2	音楽	2		
		表現	2				
	初等中等 教育科目	保育内容総論	2				
		教科社会	2	教科国語	2	社会科教育法Ⅰ	2
		教科算数	2	教科生活	2	算数科教育法Ⅰ	2
		教科理科	2	教科音楽	2	理科教育法Ⅰ	2
		教科家庭	2	教科図画工作	2	音楽家教育法	2
		教科体育	2			家庭科教育法	2
		教科英語	2			体育科教育法	2
						英語科教育法	2
	英語教育 科目						水泳指導法
実習科目							
DP4 学部基幹 科目							
DP5 学部基幹 科目							
子ども教育 科目							

必修科目

選択必修科目

		1		1		
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	
DP1	基礎科目					
	教養履修科目A					
	教養履修科目B	伝統文化論（茶道）Ⅴ 1	伝統文化論（茶道）Ⅵ 1	伝統文化論（茶道）Ⅶ 1	伝統文化論（茶道）Ⅷ 1	
	学部基礎科目					
	専門発展科目	子どもの心と教育 2 子どもの遊び 2 子どもの食育論 2 地域福祉論 2 カウンセリング理論 2 異文化理解 2	子どものメディア論 2 子どもの生活空間 2 家族心理学 2 障害者福祉論 2 多文化共生論 2 比較教育制度論 2			
子ども教育科目						
DP2	乳幼児保育科目					
	初等中等教育科目	国語科教育法Ⅱ 2 社会科教育法Ⅱ 2 算数科教育法Ⅱ 2 理科教育法Ⅱ 2				
		道徳教育論 2 生徒指導・進路指導論 2 児童英語教育論 2 学習指導の技術Ⅰ 2 中学校英語指導法Ⅱ 2 第二言語教育論 2 英語Ⅱ 2	総合的な学習の時間の指導法 2 特別活動の指導法 2 英語教材研究 2 学習指導の技術Ⅱ 2 中学校英語指導法Ⅲ 2 中学校英語指導法Ⅳ 2			
		英語教育科目	中級英語コミュニケーションⅠ 1 英語プレゼンテーション 1 Children's Life in English 2 TOEIC演習Ⅰ 1	Children's Literature 2 中級英語コミュニケーションⅡ 1 TOEIC演習Ⅱ 1	上級英語コミュニケーションⅠ 1	上級英語コミュニケーションⅡ 1
		教育実習指導b 1	教育実習指導c 1	教育実習指導d 4		
英語実習科目			教育実習指導e 4			
DP3	実習科目					
DP4	学部基礎科目	子ども学専門演習Ⅰ 1	子ども学専門演習Ⅱ 1	子ども学専門演習Ⅲ 1	職業実践演習（幼・小） 2	
DP5	学部基礎科目			教育ボランティアワーク 1	子ども学専門演習Ⅳ 1	
	子ども教育科目					



## 9. 留学制度

本学では、学部ごとに次のような留学制度を設けています。この制度は、異文化社会での語学研修を通して語学力の向上を目指すとともに、国際的視野を養うことを目的としています。

### 1) 国際観光学部

#### (1) 語学留学制度

1年次に「外国語特修コース」を選択した学生が2年次の秋学期より1年間、本学の提携する大学・海外研修校において、語学研修等を受けるものです。

対象学部学科	国際観光学部 国際観光学科 外国語特修コース
派遣時期	2年次、3年次
学修期間	秋学期～春学期
派遣先	アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、 ニュージーランド、中国、台湾
認定単位数	上限33単位

### 2) 子ども教育学部

#### (1) 海外小学校・幼稚園インターンシップ制度

ニュージーランド国立ワイカト大学において夏期休暇中または春期休暇中に、短期語学研修と小学校・幼稚園インターンシップを行います。

対象学部学科	子ども教育学部 子ども教育学科
派遣時期	1～4年次
学修期間	夏期休暇中、または春期休暇中
派遣先	ニュージーランド国立ワイカト大学

#### (2) 語学留学制度

2年次の春学期より約半期間～1年間、本学の提携する大学・海外研修校において、語学研修等を受けるものです。

対象学部学科	子ども教育学部 子ども教育学科
派遣時期	2年次
学修期間	春学期～秋学期
派遣先	ニュージーランド国立ワイカト大学

## 10. 卒業後の学修制度

卒業後、さらに学修を継続したい場合は、次のような制度があります。

詳細については、担任または教務までお問合せください。

制 度	内 容	受付時期
卒業生特別入学	・ 本学の卒業生は、卒業年に限って、卒業学科以外の学部・学科、平安女学院大学短期大学部へ入学することができます。	1 月ごろ
研究生	・ 平安女学院大学において、特定の主題について研究・調査を希望する方に、研究生の制度があります。 ・ 研究生は、本学の研究施設および設備を利用することができます。	1 月ごろから 2 月末日まで
科目等履修生	・ 科目等履修生とは、大学入学資格を有する方を対象として、大学で履修した科目の単位を当該大学が認定するものです。 ・ 在学時に履修できなかった免許・資格の不足単位を履修し、単位認定を受けることで、免許・資格の取得を目指すことができます。 ・ 科目等履修生に出願できるのは、高等学校を卒業された方またはそれと同等の学力がある方です。 ・ 当該年度に登録できる単位は、22 単位までです。	春学期履修 3 月ごろ  秋学期履修 9 月ごろ

## 11. 学生による授業改善のためのアンケート

本学では、授業改善のために学期ごとに授業評価についてのアンケートを実施しています。

大学及び授業科目担当者は、学生からの要望や建設的意見を真摯に受け止め授業の改善と向上に努めます。

みなさんも、このアンケートの機会を積極的に利用し、より充実した授業となるよう協力をお願いします。

2019年4月1日発行

平安女学院大学  
教務チーム

京都キャンパス

〒602-8013 京都市上京区烏丸通下立売西入  
電話 (075)414-8160 (直通) / FAX (075)414-8159

高槻キャンパス

〒569-1092 高槻市南平台5丁目81番1号  
電話 (072)693-2462 (直通) / FAX (072)696-4919

